

HITACHI  
Inspire the Next

Prius  
Deck 530B

# パソコン応用

応用操作

1

消費電力を節約する

2

パソコンを拡張する

3

セットアップする

4

日常のお手入れ

5

トラブルと思ったら

6

技術情報

7

付録

マニュアルはよく読み、保管してください。

■製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

■このマニュアルは、いつでも参照できるように、手近な所に保管してください。

## 重要なお知らせ

本書の内容の一部または全部を、無断で転載あるいは引用することを禁止します。

本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。

本書の記述内容について万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。

本製品を運用した結果については前項にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## パソコンの信頼性について

ご購入いただきましたパソコンは、家庭用、あるいは、一般事務用を意図して設計・製作されています。生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途への使用は避けてください。このような使用に対する万一の事故に対し、弊社は一切責任を負いません。

高信頼性を必要とする場合には、別システムが必要です。弊社営業部門にご相談ください。

家庭用一般事務用パソコンが不適当な、高信頼性を必要とする用途例

・化学プラント制御、医療機器制御、緊急連絡制御など

## 規制、対策などについて

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会のパソコン業界基準 (PC-11-1988) に適合しています。

電源の瞬時電圧低下対策について

落雷等による電源の瞬時電圧低下に対して不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします (社団法人 電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)。

高調波ガイドライン適合について

本装置は、経済産業省通知の家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに適合しています。

ENERGYSTAR<sup>®</sup> について

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

『国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク (ロゴ) は参加国間で統一されています。』

輸出規制について

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規制等外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、お問い合わせ先にお問い合わせください。

なお、この装置に付属する周辺機器やプレインストールされているソフトウェアも同じ扱いになります。

# このマニュアルの使いかた

パソコンを安全にお使いいただくために  
パソコンをお使いいただく上で注意していただきたいことについて説明します。必ずお  
読みください。

1章 応用操作  
画面や音量の調整、ワンタッチキーの設定など、パソコンの応用操作について説明しま  
す。

2章 消費電力を節約する  
パソコンの消費電力を節約するために必要な設定について説明します。

3章 パソコンを拡張する  
パソコンに周辺機器を接続する方法を説明します。

4章 セットアップする  
ご購入時にセットアップされていないアプリケーションのセットアップのしかたや、パ  
ソコンをご購入時の状態に戻す方法を説明します。

5章 日常のお手入れ  
パソコンや周辺機器のお手入れについて説明します。

6章 トラブルと思ったら  
パソコンの電源を入れたときにエラーメッセージが表示されたり、接続した周辺機器が  
正しく動作しないときは、この章をお読みください。




7章 技術情報  
パソコンの仕様、有償部品やオプション情報について説明します。

付録  
用語の解説やさくいんを記載しています。

## マニュアルの表記について

### マークについて

マニュアルの中で使用している、マークの意味を説明します。

-  **重要** 重要事項や使用上の制限事項を示します。
-  **ヒント** パソコンを活用するためのヒントやアドバイスです。
-  **参照** 参照先を示します。

# もくじ

重要なお知らせ	
パソコンの信頼性について	
規制、対策などについて	
このマニュアルの使いかた	.1
マニュアルの表記について	.1
もくじ	.2
パソコンを安全にお使いいただくために	.5

## 1 章 応用操作

ディスプレイを調整する	12
ディスプレイの表示を変える	12
音量を調整する	14
Windows の音量を調整する	14
ワンタッチキーを設定する	17
メール着信ランプを使う	20
メール着信ランプの設定	20

## 2 章 消費電力を節約する

節電機能とは	26
節電機能の種類	26
節電する	27
自動で節電する	27
すぐに節電する	28
節電状態から復帰する	30
節電機能を使わないようにするとき	31
節電機能を使わないようにするとき	31
節電機能を使わないようにするには	31

## 3 章 パソコンを拡張する

周辺機器接続時に必要な設定	34
周辺機器と必要なケーブル類	35
使用できる周辺機器	35
プリンターを接続する	36
接続方法	36
プリンタードライバのインストール方法	36
プリンタードライバの削除方法	36
使用するプリンターの選択	37
ヘッドホン、マイクを接続する	39
接続方法	39
マイクを使って録音する	40
USB 機器を接続する	42
接続方法	42
i.LINK 機器を接続する	44
i.LINK 機器接続の準備	44
接続方法	44

光デジタルオーディオ機器を接続する	46
接続方法	46
LAN を接続する	47
接続方法	47
PC カードを使う	48
挿入手順	48
取り出し手順	49
SD メモリーカードを使う	51
挿入手順	51
取り出し手順	52
ディスプレイを複数接続する	53
接続できる 2 台目のディスプレイについて	53
接続方法	53
同時表示にする	54
表示を切り替える	55
パソコンカバーの取り外し / 取り付け	57
作業時の注意点	57
取り外し手順	58
取り付け手順	58
メモリーボードを取り付ける	59
メモリーボードとメモリーボードソケットの組み合わせかた	59
取り付け手順	60
取り外し手順	61
拡張ボードを取り付ける	62
取り付けられる拡張ボード	62
取り付け手順	62
その他の周辺機器を接続する	64

## 4 章 セットアップする

ご購入時の状態に戻すには	66
作業の流れ	66
1 準備する	66
2 一括セットアップを行う	67
3 アプリケーションをセットアップする	72
アプリケーションのセットアップ	77
セットアップの前に	77
アプリケーションを削除する	78
アプリケーションのセットアップ	80
各アプリケーションの制限や設定	83
ドライバー、ユーティリティのセットアップ	86
セットアップ方法	86
Windows ファイルを追加セットアップする	93
パーティションの設定	94

## 5 章 日常のお手入れ

パソコンのお手入れ	100
パソコンのお手入れ	100
マウスのお手入れ	101
ディスクドライブのお手入れ	102
DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブのクリーニング	102

## 6 章 トラブルと思ったら

電源を入れたときの異常	. 104
エラーメッセージが表示されたら	. 104
BIOS で解決する	. 106
BIOS メニューの立ち上げと終了	. 106
BIOS の設定をご購入時の状態に戻す	. 107
制限事項	. 110
パソコンおよび周辺機器を使用する環境について	. 110
パソコンおよび周辺機器の取り扱いについて	. 110
通信に関する制限	. 111
キーボードに関する制限	. 111
HDD の容量表示について	. 111

## 7 章 技術情報

パソコン仕様一覧	. 114
ドライブの仕様	. 116
DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブの仕様	. 116
ドライブの使用について	. 117
メモリーボードの仕様	. 119
有寿命部品一覧	. 120
オプション情報	. 121

## 付録

用語解説	. 124
さくいん	. 131

# パソコンを安全にお使いいただくために

## 安全に関する共通的な注意について

次に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

- ・操作は、このマニュアル内の指示、手順に従って行ってください。
  - ・装置やマニュアルに表示されている注意事項は必ず守ってください。
- これを怠ると、けが、火災や装置の破損を引き起こすおそれがあります。

## シンボルについて

安全に関する注意事項は、次に示す見出しによって表示されます。これは安全注意シンボルと「警告」および「注意」という見出し語を組み合わせたものです。



これは、安全注意シンボルです。人への危害を引き起こす潜在的な危険に注意を喚起するために用います。起こりうる傷害または死を回避するためにこのシンボルのあとに続く安全に関するメッセージに従ってください。



これは、死亡または重大な傷害を引き起こすかもしれない潜在的な危険の存在を示すのに用います。



これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。



これは、装置の重大な損傷、または周囲の財物の損害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。



### 【表記例1】感電注意

この図記号は注意していただきたいことを示し、 の中に「感電注意」などの注意事項の絵が描かれています。



### 【表記例2】分解禁止

この図記号は行ってはいけないことを示し、 の中に「分解禁止」などの禁止事項の絵が描かれています。



### 【表記例3】電源プラグをコンセントから抜け

この図記号は行っていただきたいことを示し、 の中に「電源プラグをコンセントから抜け」などの強制事項の絵が描かれています。

## 操作や動作は

マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。装置について何か問題がある場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、お買い求め先にご連絡ください。

## 自分自身でもご注意を

装置やマニュアルに表示されている注意事項は、十分検討されたものです。それでも、予測を越えた事態が起こることが考えられます。操作に当たっては、指示に従うだけでなく、常に自分自身でも注意するようにしてください。

## 警告



異常な熱さ、煙、異常音、異臭  
万一異常が発生した場合は、電源スイッチ、主電源スイッチを OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。また、すぐに電源プラグを抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。



修理・改造・分解  
本書の指示に従って行うオプションなどの増設作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。火災や感電、やけどの原因になります。  
特に電源ユニット内部は高電圧が数多くあり、万一さわると危険です。



装置内部への異物の混入  
通気孔などから内部にクリップや虫ピンなどの金属類や燃えやすい物などを入れないでください。そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。



パソコンカバーの取り外し  
パソコンカバーを取り外すときは、電源スイッチを OFF にし、電源プラグをコンセントから抜き、すべてのケーブル類をパソコンから外してから行ってください。パソコンの電源を切っても、一部の回路には、通電しているため、思わぬ接触など作業の不具合発生時に故障や劣化による火災の原因になります。

参照 関連ページ P.58



電源コードの扱い  
電源コードは必ず付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、電源コードの銅線が露出したりショートや一部断線で、過熱して感電や火災の原因になります。

- ・ものを載せない
- ・引っ張らない
- ・押しつけない
- ・折り曲げない
- ・加工しない
- ・熱器具のそばで使わない
- ・束ねない



装置上に物を置く  
花びん、植木鉢など水の入った容器や虫ピン、クリップなどの小さな金属物を置かないでください。内部に入った場合、そのまま使用すると、感電や発煙、発火の原因になります。



揮発性液体の近くでの使用  
マニキュア、ペディキュアや除光液など揮発性の液体は、パソコンの近くで使わないでください。パソコンの中に入って引火すると火災の原因になります。



電源プラグの抜き差し

- ・電源プラグをコンセントに差し込むとき、または抜くときは必ず電源プラグを持って行ってください。電源コード部分を引っ張るとコードの一部が断線してその部分が過熱し、火災の原因になります。
- ・休暇や旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。使用していないときも通電しているため、万一、部品破損時には火災の原因になります。
- ・電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと感電の原因になります。



## 警告



### 電源プラグの接触不良やトラッキング

電源プラグは次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因になります。

- ・ 電源プラグは、根元までしっかり差し込んでください。
- ・ 電源プラグは、ほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。付着している場合は、乾いた布などで拭き取ってから、差し込んでください。
- ・ グラグラしないコンセントを使ってください。



### 落下などによる衝撃

落下させたり、ぶつけるなど過大な衝撃を与えないでください。内部に変形や劣化が生じ、そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。



### 使用する電源

使用できる電源は交流 100V です。それ以外の電圧では使用しないでください。電圧の大きさによって内部が破損したり過熱・劣化して感電や火災の原因になります。



### 日本国以外の使用

本パソコンは日本国内専用です。電圧の違いや環境の違いにより国外で使用すると火災や感電の原因になります。また他国には独自の安全規格が定められており本パソコンは適合していません。



### 電池の取り扱い

次のようなことは、行わないでください。電池は、取り扱いを誤ると過熱・破裂・発火・液漏れなどでけがをしたり、発煙・発火の原因になります。

- ・ 分解しない
- ・ 100 以上に加熱しない

交換はお問い合わせ先にご相談ください。



### 電池の保管

電池を保管する場合は、端子に絶縁テープをはり、絶縁状態にしてください。絶縁状態にしないで電池を保管すると、端子間どうしが接触ショートし過熱・破裂・発火などでけがをしたり、火災の原因になります。



### タコ足配線

同じコンセントに多数の電源プラグを接続するタコ足配線はしないでください。コードやコンセントが過熱し、火災の原因になるとともに、電力使用量オーバーでブレーカーが落ち、ほかの機器にも影響を及ぼします。



### 湿気やほこりの多い場所での使用

浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の高い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。



### 温度差のある場所への移動

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると、発煙、発火や感電の原因となります。使用する場所で、数時間そのまま放置してからご使用ください。



### 電源スイッチについて

電源スイッチを OFF にしても、一部の回路には通電されています。休暇や旅行など長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。万一、部品破損時には火災の原因になります。

 **警告****周辺機器の増設や接続**

周辺機器を増設・接続するときは、電源プラグをコンセントから抜き、すべてのケーブル類をパソコンから外してください。また、マニュアルの説明に従い、マニュアルで使用できることが明記された周辺機器を使用してください。それ以外の周辺機器を使用すると、接続仕様の違いによる周辺機器やパソコンの故障から発煙、発火、火災や故障の原因になります。

**参照** 関連ページ P.57

**通気孔**

通気孔は内部の温度上昇を防ぐためのものです。物を置いたり立てかけたりして通気孔をふさがないようにください。内部の温度が上昇し、発煙、発火や故障の原因になります。

**パソコンスタンド、ゴム足の取り付け**

縦置きの場合、付属の円形スタンドと後スタンドを、横置きの場合は、付属のゴム足を正しい位置に取り付けてください。取り付けないと、通気孔がふさがれ、発煙、発火や故障の原因になります。また、転倒し、けがや故障の原因になります。

**電話線への接続と使用**

雷が鳴っているときは、パソコンの使用、電話線への接続作業を中止してください。誘導雷で発生する高電圧によって感電するおそれがあります。

**モジュラーケーブルについて**

パソコンのカバーを開ける場合には、パソコンからモジュラーケーブル（電話線）を必ず外してください。呼び出し（ベル）着信時および雷が鳴っているときは感電するおそれがあります。

**梱包用ポリ袋について**

パソコンの梱包用エアークャップなどのポリ袋は、お子様の手の届くところに置かないでください。かぶったりすると、窒息するおそれがあります。

# 注意



## 接続端子への接触

USB コネクターなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。また、金属片のある場所に置かないでください。発煙したり接触不良などにより故障の原因になります。



## 部品の追加・交換

電源を切った直後は、カバーや内部の部品が熱くなっています。約30分、時間をおいてから行ってください。やけどの原因になります。

[参照](#) 関連ページ P.57



## 金属など端面への接触

パソコンの移動、部品の追加などで金属やプラスチックなどの端面に触れる場合は、注意して触れてください。または、綿手袋を着用してください。けがをするおそれがあります。

[参照](#) 関連ページ P.57



## 不安定な場所での使用

傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。



## 目的以外の使用

踏み台やブックエンドなど、パソコン本来の目的以外に使用しないでください。壊れたり、倒れたりし、けがや故障の原因になります。



## 信号ケーブルについて

- ・ ケーブルは足などに引っかけないように、配線してください。足をひっかけると、けがや接続機器の故障の原因になります。また、大切なデータが失われるおそれがあります。
- ・ ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の原因になります。



## ヘッドホンやイヤホン

ヘッドホンやイヤホン使用時は、適度な音量でご使用ください。音量が大きすぎると難聴になるおそれがあります。

[参照](#) 関連ページ P.39



## 眼精疲労について

ディスプレイを見る作業を行うときは、作業場を300～1000ルクスの明るさにしてください。また、連続作業するときは、1時間に10分から15分程度の休息をとってください。長時間ディスプレイを見続けると、眼に疲労が蓄積されます。

## 注意



屋外での使用  
屋外では使用しないでください。故障の原因になります。



### パソコンの廃棄

- ・ 事業者が廃棄する場合  
パソコンを廃棄するときには廃棄物管理表（マニフェスト）の発行が義務づけられています。詳しくは、各都道府県産業廃棄物協会にお問い合わせください。廃棄物管理表は、（社）全国産業廃棄物協会に用意されています。
- ・ 個人が廃棄する場合  
パソコンを廃棄するときは、お買い求め先にご相談いただくか、地方自治体の条例または規則に従ってください。



### ボードの取り扱いについて

ボードを取り扱う場合は、静電気をあらかじめ取り除くか、綿手袋などを着用してください。静電気を取り除かないで、コネクタ部などの電気部品に触れると壊れるおそれがあります。

[参照](#) 関連ページ P.57



### バックアップについて

ハードディスク装置のデータなどの重要な内容は必ず補助記憶装置にバックアップを取ってください。ハードディスク装置が壊れると、データなどがすべてなくなってしまいます。



### 電波障害について

ほかのエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

- ・ テレビやラジオなどからできるだけ離す
- ・ テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える
- ・ コンセントを別にする

# 1

## 章

# 応用操作

この章では、  
パソコンの設定を工夫し、さらに使いやすくする方法について  
説明します。

# ディスプレイを調整する

ここでは、ディスプレイの表示の設定を変更する方法を説明します。

## ディスプレイの表示を変える

ディスプレイの表示を細かく設定することで見やすく目の疲れにくい画面表示にできます。設定は、[画面のプロパティ]で行います。

### [画面のプロパティ]の開き方

- 1 [スタート]ボタン - [コントロールパネル]をクリックする。  
[コントロールパネル]が表示される。
- 2 [画面]アイコンをダブルクリックする。  
[画面のプロパティ]が表示される。

#### ヒント

- ・ [コントロールパネル]に[画面]アイコンが表示されていないときは、「クラシック表示に切り替える」をクリックすると表示されます。

### 画面の解像度、色、フォントサイズの設定

#### 重要

- ・ 設定はアプリケーションを終了させてから行ってください。実行中に行うと、正しく動作しないことがあります。

- 1 [画面のプロパティ]の[設定]タブで、画面の解像度や色を設定する。フォントサイズについては、[デザイン]タブの[フォントサイズ]で設定する。次の表の組み合わせに従い、[適用]ボタン、[OK]ボタンをクリックする。



画面の解像度	色	フォントサイズ
800 × 600	中 (16 ビット)	標準 * 1 大きいフォント 特大フォント
	最高 (32 ビット)	
1024 × 768 * 1	中 (16 ビット)	
	最高 (32 ビット) * 1	

\* 1 : 出荷時のパソコンは、この標準値に設定されています。

\* 2 : 中 (16 ビット) は 65536 色、最高 (32 ビット) は約 1677 万色です。ただし、ディスプレイによっては最高 (32 ビット) に設定しても 1677 万色以下になります。

#### ヒント

- ・ この設定は、ディスプレイ付属のマニュアルもご参照ください。

**2** 以降、表示されるメッセージに従って操作する。  
画面の表示が設定される。

#### 重要

- ・ 画面の表示で問題が発生した場合は、[画面のプロパティ]の[設定]タブで[詳細設定]ボタンをクリックして[トラブルシューティング]タブで[ハードウェア アクセラレータ]を左から2つ目の目盛りに設定してください。
- ・ 表示モードによってはディスプレイの表示領域の位置やサイズが異なります。ディスプレイ側で画面を調節してください。調節の方法については、ディスプレイ付属のマニュアルをご参照ください。
- ・ アプリケーションによっては、スクロールしたりウィンドウの移行を行ったりしたときに表示の一部が欠けたり乱れたりすることがあります。この時は、ウィンドウをクリックするなどして、再表示してください。

## リフレッシュレートの設定

必要に応じて、ディスプレイのリフレッシュレートを設定します。

リフレッシュレートとは、1秒間にディスプレイの画面を書き換える回数を指します。この数値が高いほどちらつきが少なく、目に負担を与えない画面表示になります。

**1** [画面のプロパティ]の[設定]タブで、[詳細設定]ボタンをクリックし、プロパティを開く。

**2** [モニタ]タブの[モニタの設定]でリフレッシュレートを選択し、[適用]ボタンをクリックする。

#### ヒント

- ・ リフレッシュレートの詳細な設定については、ディスプレイに付属のマニュアルをご参照ください。
- ・ 使用するディスプレイによって選択できるリフレッシュレートの内容は異なります。

# 音量を調整する

ここでは、パソコンの音量を調整する方法を説明します。

## Windows の音量を調整する

Windows の [Volume Control] やキーボードのキーを使うと、Windows の音量を調整できます。

### [Volume Control] で調整する

Windows の [Volume Control] を使うと、CD プレーヤーの音量や録音レベルも調整できます。

- 1 [スタート] ボタン - [コントロールパネル] をクリックする。  
[コントロールパネル] が開く。
- 2 [サウンドとオーディオデバイス] アイコンをダブルクリックする。  
[サウンドとオーディオデバイス] の [音量] タブが開く。

#### ヒント

- ・ [コントロールパネル] に [サウンドとオーディオデバイス] アイコンが表示されていないときは、[クラシック表示に切り替える] をクリックすると表示されます。

- 3 [デバイスの音量] の [詳細設定] ボタンをクリックする。  
[Volume Control] が表示される。
- 4 音量やバランスを調整したい箇所のスライダーをドラッグアンドドロップする。





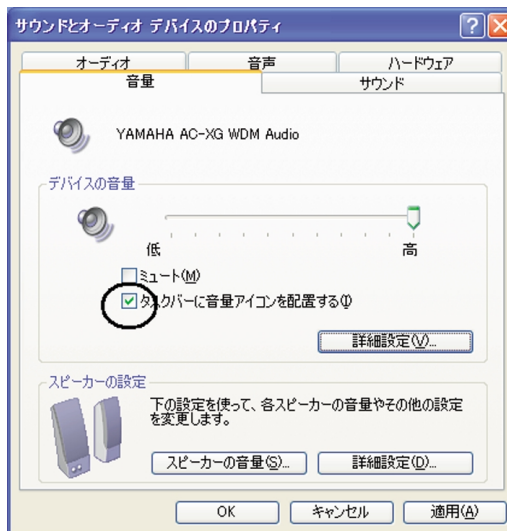
### ヒント

- ・ 項目の意味は、次の通りです。  
Volume Control : 全体的な音量を調整  
WAVE : WAV ファイルなどの音量を調整  
Midi Out : SW シンセサイザからの音量を調整  
Line : ライン入力端子から入力された音声の音量を調整  
CD Audio : CD の音量を調整

## 通知領域に [ 音量 ] アイコンを表示して調整する


[ 音量 ] アイコンを通知領域に表示し、音量を調整することもできます。

- 1 [ スタート ] ボタン - [ コントロールパネル ] をクリックする。  
[ コントロールパネル ] が開く。
- 2 [ サウンドとオーディオデバイス ] アイコンをダブルクリックする。  
[ サウンドとオーディオデバイスのプロパティ ] の [ 音量 ] タブが開く。
- 3 [ タスクバーに音量アイコンを配置する ] にチェックマークを付け、  
[ 適用 ] ボタンをクリックする。

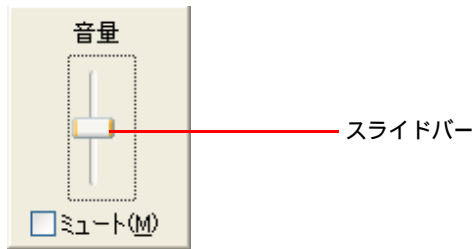


- 4 [OK] ボタンをクリックする。

[ 音量 ] アイコンで調整する

- 1 通知領域の [ 音量 ] アイコン  をクリックする。  
[ 音量 ] を調整するスライドバーが表示される。

## 2 スライダーを上下にドラッグアンドドロップして、音量を調整する。

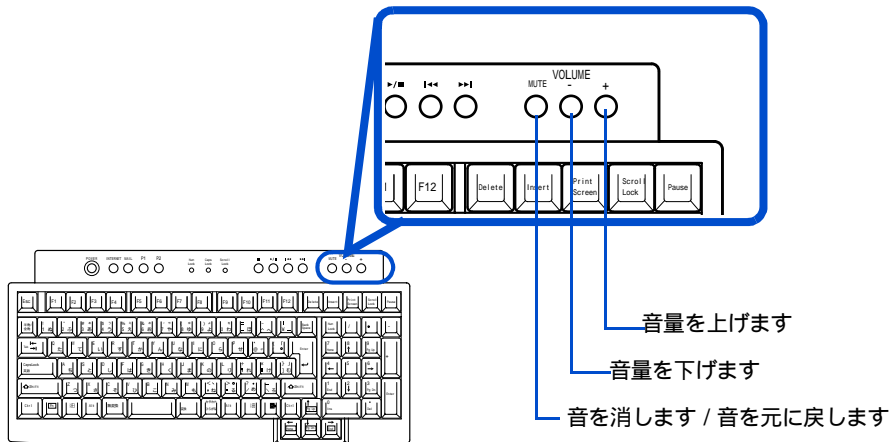


### ヒント

- ・ [ミュート] にチェックマーク (  ) が付いていると、音が出ません。

## キーボードのキーを使って調整する

キーボードの [ + ] キー、[ - ] キーを押しても、Windows の音量を調整できます。  
[MUTE] キーを押すと、音を消したり、もう一度押すと元に戻せます。



# ワンタッチキーを設定する


キーボードのワンタッチキーを押すと、設定したアプリケーションが立ち上げます。ここでは、設定の方法を説明します。ご購入時は、次のアプリケーションを立ち上げるように設定されています。必要に応じて変更してください。

## 標準の設定

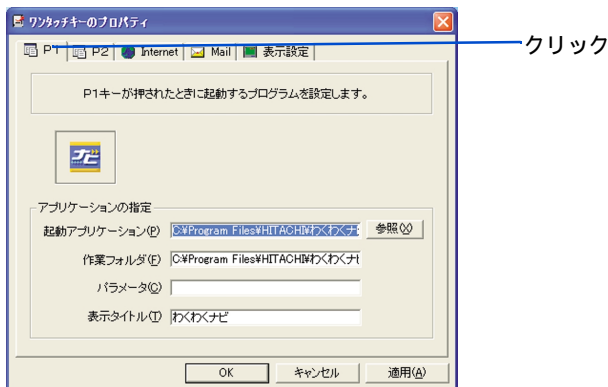
- ・ [Internet] キー：Internet Explorer (インターネットエクスプローラ)
- ・ [Mail] キー：Outlook Express (アウトルックエクスプレス)
- ・ [P1] キー：わくわくナビ
- ・ [P2] キー：PriusAV ランチャー

## 設定の方法

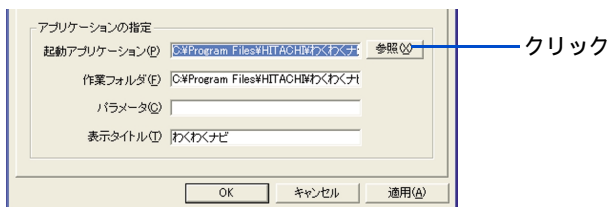
ここでは、[P1] キーにメモ帳を割り付ける場合を例に説明します。、[P2] キーを押したときに立ち上がるアプリケーションを設定します。

- 1  アイコンをダブルクリックするか、アイコンを右クリックし、メニューから「キーボードの設定」を選択する。  
[ワンタッチキーのプロパティ]が表示される。

- 2 [P1] タブをクリックする。

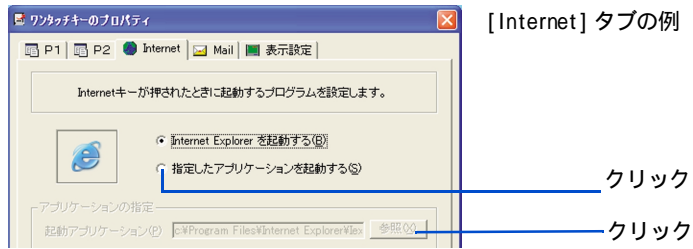


- 3 [参照] ボタンをクリックする。



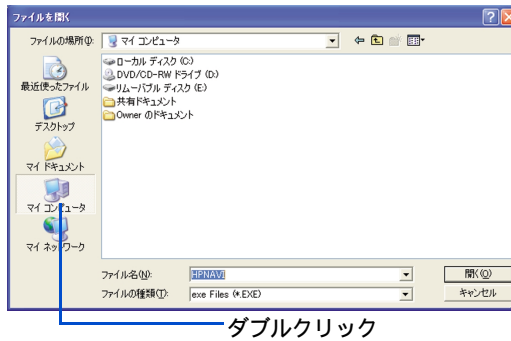
## ヒント

- ・ [Internet] タブや [Mail] タブの場合は、[指定したアプリケーションを起動する] をクリックしてチェックを入れてから、[参照] ボタンをクリックします。



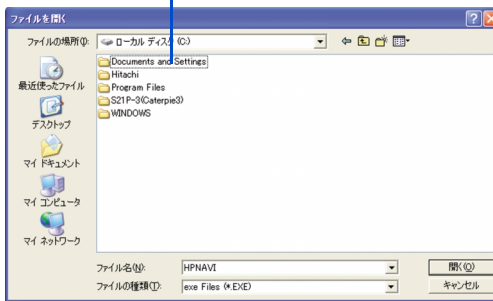
- ・ [Internet] キーをインターネットエクスプローラに戻す場合は、[Internet] タブで [Internet Explorer を起動する] をクリックしてチェック入れ、手順 7へ進みます。  
[Mail] キーをアウトLOOKエクスプレスに戻す場合は、[Mail] タブで [標準のメールソフトを起動する] をクリックしてチェック入れ、手順 7へ進みます。

#### 4 [マイコンピュータ] をダブルクリックする。



#### 5 [ローカルディスク (C:)] をダブルクリックする。

ダブルクリック



#### 6 割り付けたいアプリケーションのプログラムを選択する。

例えば、メモ帳を割り付ける場合は、[WINDOWS]、[スタート メニュー]、[プログラム]、[アクセサリ]の順にダブルクリックし、メモ帳をダブルクリックする。

[ワンタッチキーのプロパティ]に戻り、[起動アプリケーション]、[作業フォルダー]が設定される。

#### 7 必要に応じて、[パラメータ]に、アプリケーション立ち上げ時のパラメータを入力する。省略してもよい。

## ヒント

- ・ パラメーターの設定詳細については、各アプリケーションのマニュアルおよびヘルプファイルをご参照ください。

## 8 [表示タイトル] にスペース以外の文字を入力する。

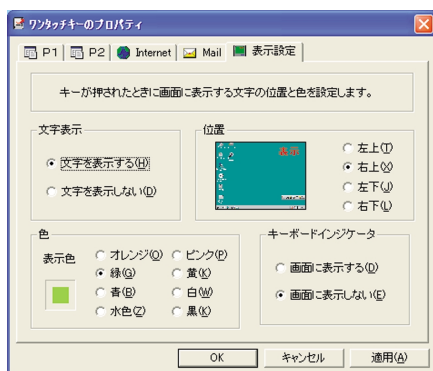
## ヒント

- ・ ワンタッチキーが押されたとき、ディスプレイに表示させるタイトルです。通常アプリケーションを選択すると、そのアプリケーション名が自動的に入力されます。

9 [OK] ボタンをクリックする。  
[P1] キーにアプリケーションが割り付けられる。

## 表示設定

[ワンタッチキーのプロパティ] の [表示設定] タブをクリックすると、[Stop]、[Play&Pause]、[Rew]、[FF] キー以外のワンタッチキーが押されたときの表示の設定ができます。ディスプレイに表示する文字の位置、色を設定します。キーボードインジケータ「Num Lock」、「Caps Lock」、「Scroll Lock」の画面表示有無の設定もできます。



# メール着信ランプを使う

メール着信ランプ付のパソコンには自動的にメール着信の有無を取得し、メール着信ランプを点灯する機能があります。ここでは、その設定方法を説明します。

## ヒント

- ・ メール着信ランプは設定した時間にメールサーバーにアクセスし、メールがある場合に点灯します。
- ・ 「Outlook Express」のメールアカウント設定で [ サーバーにメッセージのコピーを置く ] が  になっていると、新着メール以外もメールサーバーに残るため、メール着信ランプは点灯します。
- ・ サーバーには容量制限があります。多数のメールをサーバーに残しておくと、新しいメールを受信するための容量が不足してしまいます。そのような場合には、メールを受信できなかったり、古いメールから自動的に削除されることがあります。サーバーに残したメールを定期的に削除してください。メールをサーバーから削除する方法については、各プロバイダーにお問い合わせください。

## 重要

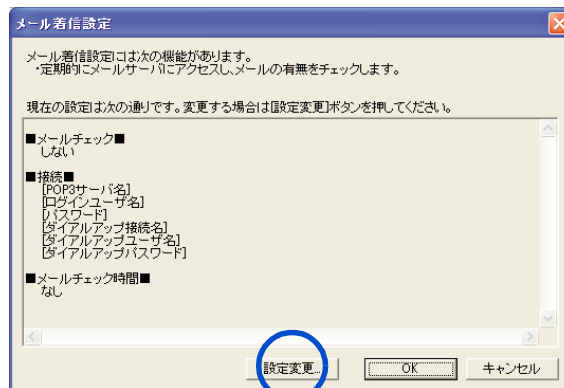
- ・ インターネットへの接続設定が済んでいないと、使用できません。
- ・ アカウントの種類は、[ コンピュータの管理者 ] でお使いください。それ以外のアカウントでは正しく動作しないことがあります。
- ・ パソコンを複数のユーザーで使用している場合は、自動ログオン設定を行う必要があります。

**参照** 複数ユーザーで使用する 『パソコン入門』4章の「一台のパソコンを複数の人で使う」

**参照** インターネットの設定詳細について 『始めよう！インターネット』1章「インターネットに接続する」

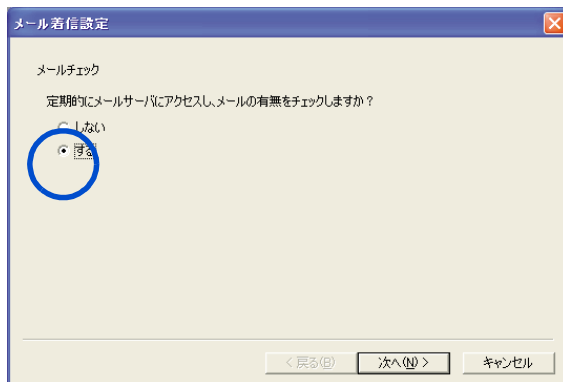
## メール着信ランプの設定

- 1 デスクトップ左下の [ スタート ] ボタン - [ プログラム ] - [ メール着信設定 ] - [ メール着信設定 ] をクリックする。  
メール着信設定が立ち上がります。
- 2 [ 設定変更 ] ボタンをクリックする。



画面が切り替わります。

3 [ する ] をクリックして、 を  にする。



4 [ 次へ ] ボタンをクリックする。  
画面が切り替わります。

5  をクリックし、接続名をクリックする。

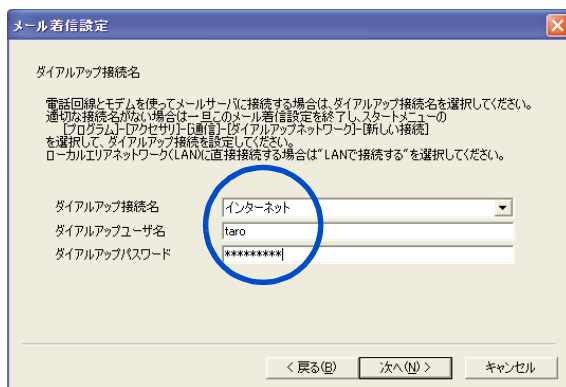
**重要**

- ・ 接続名がないときは [ キャンセル ] ボタンをクリックし、このメール着信設定を終了します。インターネットへの接続を設定してください。

**参照** インターネット接続の設定方法について 1 章の「すでにプロバイダーに加入している方は」

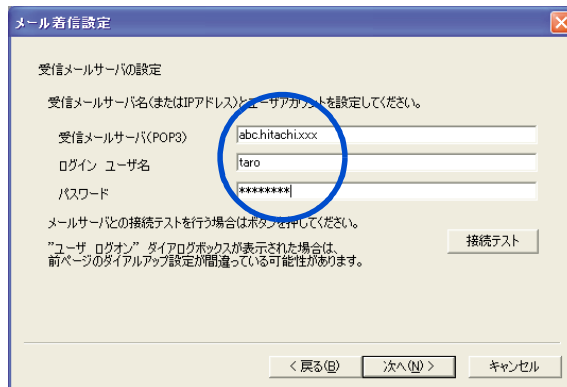
6 [ ダイアルアップユーザ名 ] 欄にユーザー名を入力する。

7 [ ダイアルアップパスワード ] 欄にパスワードを入力する。



8 [ 次へ ] ボタンをクリックする。  
画面が切り替わります。

- 9 [受信メールサーバ] 欄にプロバイダーの受信メールサーバーを入力する。
- 10 [ログインユーザ名] 欄にユーザー名を入力する。
- 11 [パスワード] 欄にパスワードを入力する。

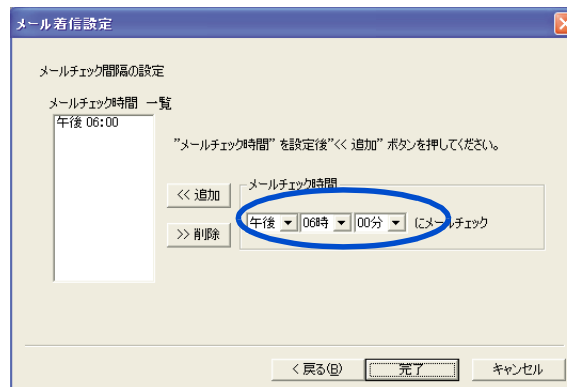


- 12 [次へ] ボタンをクリックする。  
画面が切り替わります。

**ヒント**

- ・ [接続テスト] ボタンをクリックして、接続テストを行うこともできます。

- 13 [ ] をクリックし、メールチェック時間を指定する。



**ヒント**

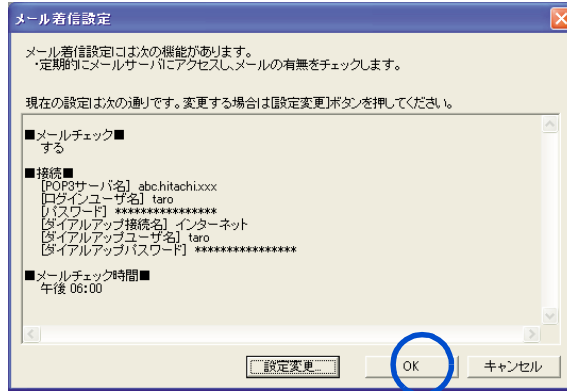
- ・ メールチェック時間を複数設定したい場合は、手順 13、14 を繰り返してください。
- ・ メールチェック時間を削除したい場合は、不要なメールチェック時間をクリックし、[削除] ボタンをクリックしてください。
- ・ メールチェック時間は、32 個まで設定できます。

- 14 [追加] ボタンをクリックする。  
[メールチェック時間一覧] に指定した時刻が入力されます。

- 15 [完了] ボタンをクリックする。  
画面が切り替わります。



## 16 [OK] ボタンをクリックする。



メールチェック時間が設定され、[着信メールソフト]画面が閉じます。



# 2

## 章

# 消費電力を節約する

この章では、  
パソコンの消費電力を節約する方法について  
説明します。

# 節電機能とは

CPU や HDD、ディスプレイの働きを一時的に停止させることで、消費電力を節約できます。この機能を節電機能といいます。節約している状態を節電状態と呼びます。

## 節電機能の種類

機能		内容	電源ランプの状態
ディスプレイの節電		・ディスプレイを消す	点灯（緑）
ハードディスクの節電		・ハードディスクのモーターを停止する	
パソコン全体の節電	スタンバイ	・パソコンの現在の使用状況をメモリーに保存し、パソコンの電源を切る	点灯（橙）
	システムの休止状態	・パソコンの現在の使用状況をハードディスクに保存し、パソコンの電源を切る	消灯

### 重要

- ・ アプリケーションによってはその使用中に節電機能にならなかったり、節電機能が働くまでに時間がかかることがあります。
- ・ ディスプレイの節電やスタンバイなど、節電機能と Direct3D スクリーンセーバーを組み合わせで使用した場合、節電状態になったときにパソコンが動作しなくなる場合があります。このような場合にはスクリーンセーバーを別のものに変更するか、節電機能の設定を変更してください。
- ・ PC カードの周辺機器を接続したあと、スタンバイに入ると、キーボード、マウスからの復帰ができなくなる場合があります。このような場合、パソコンの電源スイッチを押して復帰させてください。
- ・ デジタルビデオなどの i.LINK 機器を使用中にスタンバイに入ると、節電状態からの復帰後、周辺機器が正常に動作しなくなる場合があります。i.LINK 機器を使用する場合には、スタンバイの設定を「なし」にしてください。

# 節電する

消費電力を自動で節電したり、特定のボタンを押して節電できます。

## 自動で節電する

パソコンをしばらく操作しないしていると、自動で消費電力が節約されます。どのくらいの時間で節電されるかは、[コントロールパネル]の[電源オプション]で設定します。

### 標準の状態

- ・ 15分操作しないと・・・ディスプレイが節電される
- ・ 20分操作しないと・・・スタンバイ状態(パソコン全体の節電)になる
- ・ 30分操作しないと・・・ハードディスクの電源が切れる

## 時間を設定する

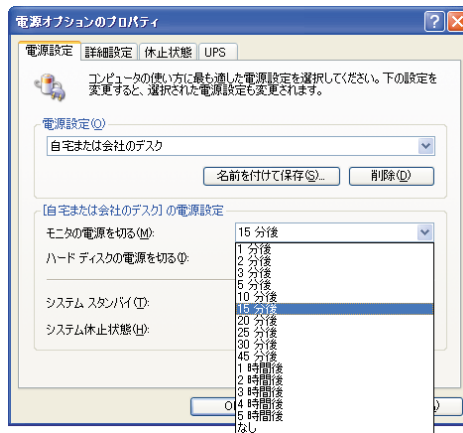
次の手順で、ディスプレイが省電力ディスプレイに設定されていることをご確認し、時間を設定してください。

- 1 [スタート]ボタン - [コントロールパネル]をクリックする。  
[コントロールパネル]が表示される。
- 2 [電源オプション]アイコンをダブルクリックする。  
[電源オプションのプロパティ]が表示される。

### ヒント

- ・ [コントロールパネル]に[電源オプション]アイコンが表示されていないときは、「クラシック表示に切り替える」をクリックすると表示されます。

- 3 [電源設定]タブの各項目に、どのくらいパソコンを操作しないしていると節電状態になるかを設定する。
  - ・ モニタの電源を切る : ディスプレイの節電
  - ・ ハードディスクの電源を切る : ハードディスクの節電
  - ・ システムスタンバイ : パソコン全体の節電(スタンバイ)
  - ・ システム休止状態 : デスクトップの状態の保存



4 [OK] ボタンをクリックする。

**重要**

- ・ [システムスタンバイ] を設定しても、時間通りに節電状態にならないことがあります。
- ・ [システムスタンバイ] と [モニタの電源を切る] を同じ時間に設定にしないでください。パソコンが正しく動かないことがあります。

## すぐに節電する

パソコンから離れるときなどに、次のようにして消費電力を節約できます。

**重要**

- ・ 音声や動画ファイルを再生中は、ここで説明する方法は行わないでください。節電状態から復帰したとき、正しく音声や動画ファイルを再生できないことがあります。

### [終了オプション] から節電する

次のようにしてパソコンを節電状態にできます。

1 [スタート] ボタン - [終了オプション] をクリックする。



2 [スタンバイ] をクリック、または [Shift] キーを押しながら [休止状態] をクリックする。  
スタンバイまたは休止状態になる。

## 電源スイッチで節電する

電源スイッチの設定を変えると、電源スイッチを押したときに、スタンバイにすることができます。この設定は [ コントロールパネル ] の [ パフォーマンスとメンテナンス ] の [ 電源オプション ] で行います。

### 標準の状態

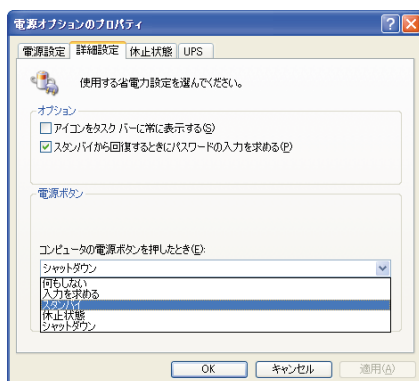
- ・ 電源スイッチを 4 秒未満押ししたとき：シャットダウン

### ヒント

- ・ 「シャットダウン」は、[ 終了オプション ] から Windows を終了するのと同様に、4 秒未満電源スイッチ押すことで電源を切る機能です。

### 設定方法

- 1 [ スタート ]-[ コントロールパネル ]-[ パフォーマンスとメンテナンス ]-[ 電源オプション ] の順にクリックする。  
[ 電源オプションのプロパティ ] が表示される。
- 2 [ 詳細設定 ] タブで、各項目を「スタンバイ」に設定する。
  - ・ コンピュータの電源ボタンを押したとき（電源スイッチを押したとき）



- 3 [OK] ボタンをクリックする。

### 重要

- ・ スタンバイにするときは、電源ランプが橙色に点灯するまでキーボードのキーを押したり、マウスを動かさないでください。復帰したときに、キーボードやマウスが動作しなくなることがあります。

# 4 節電状態から復帰する

節電状態から復帰させるには、次のように操作してください。

## ディスプレイの節電状態からの復帰

- ・ キーボードの [Shift] キーを押す
- ・ マウスを操作する

## ハードディスクの節電状態からの復帰

- ・ HDD にアクセスする操作を行う

## スタンバイからの復帰

- ・ パソコンの電源スイッチを押す

### 重要

- ・ パソコンの電源スイッチは4秒以上押さないでください。電源が強制的に切れます。
- ・ 節電状態から復帰させるときは、20秒以上時間をおいてください。20秒未満で復帰させると、キーボードやマウスが正しく動かないことがあります。
- ・ スタンバイ状態中にキー入力を行うと、入力したキーが復帰後に有効になることがあります。
- ・ コマンドプロンプトを開いた状態でスタンバイに移行した場合は正常に復帰しないことがあります。正常に復帰しない場合はマウスを操作してください。



# 節電機能を使わないようにするとき

ここでは、どんなときに使わないようにするかや、その設定方法を説明します。

2

消費電力を節約する

## 節電機能を使わないようにするとき

次のときは、スタンバイにならないようにしてください。これらの機能・プログラムでデータを扱っている最中に節電機能が働くと、データが失われることがあります。

- ・ 再セットアップ中
- ・ システムやアプリケーションの立ち上げ中
- ・ ディスク (HDD、FD、CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-ROM など) の読み書き中
- ・ 通信カード、通信ソフトで節電機能の使用が制限されている場合
- ・ プリンターの印字中
- ・ 音楽または動画の再生中はスタンバイ状態にしないでください。復帰後、音楽または動画が正しく再生されないことがあります。

## 節電機能を使わないようにするには

次の手順で、節電機能が働かないようにします。

- 1 [スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]の順にクリックする。  
[電源オプションのプロパティ]が表示される。
- 2 [電源設定]タブの各項目を「なし」に設定する。
  - ・ [モニタの電源を切る]
  - ・ [ハードディスクの電源を切る]
  - ・ [システムスタンバイ]
  - ・ [システムの休止状態]
- 3 [詳細設定]タブの各項目を「シャットダウン」に設定する。
  - ・ [コンピュータの電源ボタンを押したとき]
  - ・ [コンピュータのスリープボタンを押したとき]
- 4 [OK] ボタンをクリックする。



# 3

## 章

# パソコンを拡張する

この章では、

周辺機器の接続方法と使用方法を

説明します。

# 周辺機器接続時に必要な設定

ここでは、周辺機器を接続したときに必要な設定とその参照先をまとめてあります。なお、次の表で「必要な設定」が「なし」となっている場合でも周辺機器に付属のマニュアルを参照し、必要な場合は設定してください。

接続した周辺機器	必要な設定	参照先
プリンター	プリンタードライバー	プリンター付属のマニュアル
マイク ステレオ スピーカー	サウンドドライバーの セットアップ*1	参照 4章の「ドライバー、ユーティ リティーのセットアップ」の「サウンド ドライバー」
ヘッドホン	・サウンドドライバーの セットアップ*1 ・ドルビーヘッドホンの設 定*2	・参照 4章の「ドライバー、ユーティ リティーのセットアップ」の「サウン ドドライバー」 ・参照 本章の「ヘッドホン、マイクを 接続する」
USB 機器	なし	USB 機器付属のマニュアル
i.LINK 機器	なし	i.LINK 機器付属のマニュアル
光デジタルオーディ オ機器	なし	光デジタルオーディオ機器付属の マニュアル
LAN	・LAN ドライバーのセット アップ *1	・参照 4章の「ドライバー、ユーティ リティーのセットアップ」の「LAN ド ライバー」 ・参照 本章の「LAN を接続する」
PC カード	なし	PC カード付属のマニュアル
SD メモリーカード、 MMC	なし	SD メモリーカード、MMC 付属のマニ ュアル
2 台目の ディスプレイ	表示ドライバーのセット アップ *1	参照 4章の「ドライバー、ユーティ リティーのセットアップ」の「表示ドライ バー」
メモリーボード	なし	参照 本章の「メモリーボードを取り付 ける」
拡張ボード		
PCI ボード	なし	参照 本章の「拡張ボードを取り付け る」

\*1：標準（パソコン出荷時の状態）で、セットアップまたは設定済みです。

\*2：ヘッドホンで、ドルビーヘッドホンサウンドを聴く場合

## ヒント

- ・ 周辺機器の取り扱いについては、周辺機器のメーカーにお問い合わせください。

## 周辺機器と必要なケーブル類

周辺機器を購入しても、ケーブル類が付属していないことがあります。  
ここでは、周辺機器と必要なケーブル類についてまとめています。

周辺機器	必要なケーブル類
プリンター	USB ケーブル
スキャナー	スキャナーケーブル (USB)
デジタルビデオカメラ (i.LINK 機器)	S400 4ピンケーブル
スマートメディア コンパクトフラッシュ	PC カードアダプター
光デジタルオーディオ機器	光デジタルケーブル (丸形 : PC 側)

## 使用できる周辺機器

プリンター、デジタルカメラ、スキャナーなど、使用できる周辺機器を日立のホームページ「Prius World」で紹介しています。

「Prius World」を開き、「SUPPORT」項目でご確認ください。Prius WorldのURLについては、『困った時のQ&A』表紙の次のページの「パソコンの最新情報と困った時の対策情報」をご参照ください。

# プリンターを接続する

ここでは、プリンターの接続方法、ドライバーのインストール方法・削除方法、使用するプリンターの選択方法について説明します。

## 接続方法

本パソコンは、USB プリンター専用です。本パソコンと USB プリンターとを、USB ケーブルで接続します。接続するときは、次の項目もご参照ください。

**参照** USB プリンターの接続について 本章の「USB 機器を接続する」

## プリンタードライバーのインストール方法

プリンターを使用するには、ドライバーのインストールが必要です。プリンタードライバーのインストールについては、プリンターに付属のマニュアルをご参照ください。

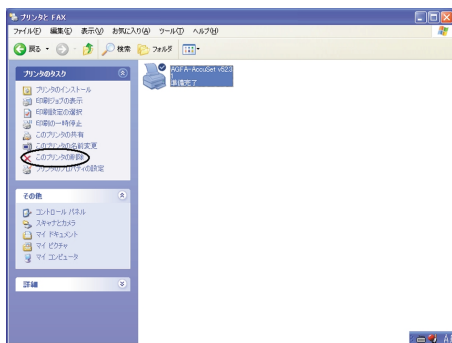
## プリンタードライバーの削除方法

パソコンからプリンターを取り外し、Windows からプリンタードライバーを削除するときは、次のようにします。お使いのプリンターにドライバーを削除（アンインストール）するユーティリティがある場合は、そちらをお使いください。

次の説明は一般的な削除方法です。

- 1 [スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]の順にクリックする。  
[プリンタとFAX]ウィンドウが表示される。

- 2 プリンターのタスクの [ このプリンタの削除 ] をクリックする。  
[ プリンタ ] が表示される。



- 3 [ はい ] ボタンをクリックする。

## 使用するプリンターの選択

通常使うプリンターを設定する方法と、一時的に別のプリンターに切り替えて印刷する方法を説明します。

### [ 通常使うプリンター ] を設定する

- 1 [ スタート ]-[ コントロールパネル ]-[ プリンタとその他のハードウェア ]-[ プリンタと FAX ] の順にクリックする。  
[ プリンタ ] ウィンドウが表示される。
- 2 通常使うプリンターを右クリックし、[ 通常使うプリンタに設定 ] をクリックする。  
以降、標準で印刷するプリンターは設定したプリンターになる。

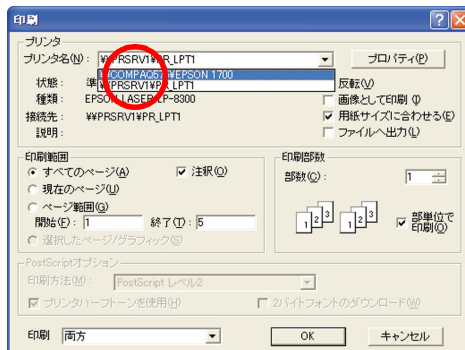
### 使用するプリンターを一時的に切り替える

- 1 印刷を行うアプリケーションの [ ファイル ] メニューから [ 印刷 ] を選ぶ。  
[ 印刷 ] ダイアログボックスが開く。

## 2 プリンターのドロップダウンリストから、一時的に使用するプリンターを選び、[OK] ボタンをクリックする。

### ヒント

- ・ 画面は一例です。



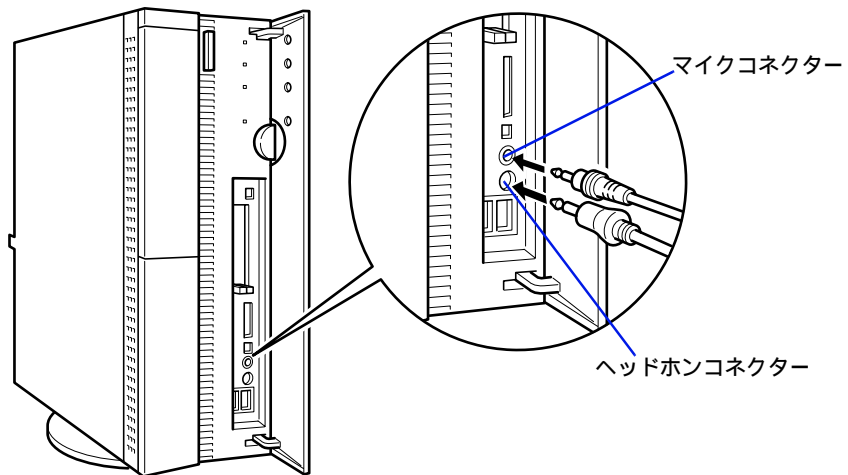


# ヘッドホン、マイクを接続する

マイクを使って自分の声など外部の音声を録音し、パソコンに音声データとして保存することができます。また、ヘッドホンで、音声データを再生したり、ゲームソフトのBGMなども楽しめます。さらにお手持ちのヘッドホンを接続し、ドルビーヘッドホンの設定を行うと、映画館で聴いているような音声を聴くこともできます。

## 接続方法

- 1 パソコン前面のヘッドホンコネクタにヘッドホンのコネクタを、マイクコネクタにマイクのコネクタを接続する。



### ⚠ 注意

- ・ ヘッドホンやイヤホン使用時は、適度な音量でご使用ください。音量が大きすぎると難聴になるおそれがあります。

## マイクを使って録音する

マイクを使って自分の声などを録音し、パソコンに音声データとして保存することができます。

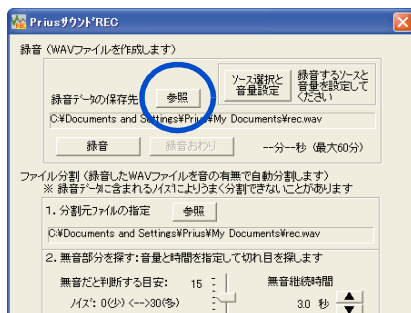
**参照** 録音レベルの調整 1章の「音量を調整する」

ここでは Prius サウンド REC を使って録音する方法を説明します。

- 1 [スタート] ボタン - [すべてのプログラム] - [Prius サウンド REC] - [Prius サウンド REC] の順にクリックする。

[Prius サウンド REC] が表示される。

- 2 [参照] ボタンをクリックする。



[wav ファイルの選択] 画面が表示される。

- 3 録音する wav ファイルを保存するフォルダーを指定し、ファイル名を入力し、[保存] ボタンをクリックする。

[Prius サウンド REC] 画面に戻り、[参照] ボタンの下に入力したファイル名が表示される。

- 4 [ソース選択と音量設定] ボタンをクリックする。

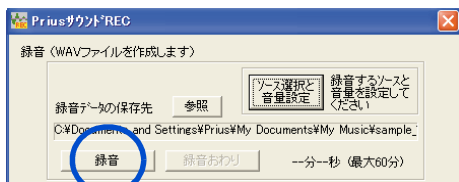
[録音コントロール] 画面が表示される。

- 5 [ライン入力] の [選択] をクリックしてチェックを入れ、スライダーをドラッグアンドドロップして音量を調整する。



6 [ × ] ボタンをクリックする。  
画面が閉じる。

7 [ 録音 ] ボタンをクリックする。

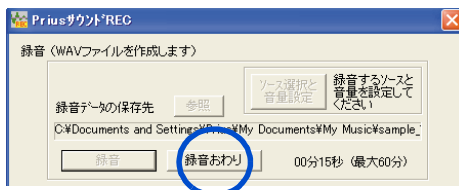


[ 録音の開始 ] 画面が表示される。

8 [ 開始 ] ボタンをクリックする。  
録音が始まる。

9 マイクに向かって話す。

10 [ 録音おわり ] ボタンをクリックする。



録音が終了する。

#### 重要

- ・ スピーカーにマイクを近づけるとハウリングすることがあります。
- ・ マイクの録音レベルを上げすぎるとハウリングすることがあります。適度なレベルに調整してお使いください。
- ・ 録音中は一時的にウィンドウの移動や終了などの操作ができません。
- ・ コンデンサーマイクで録音することをお勧めします。

#### ヒント

- ・ Prius サウンド REC の使い方は、[Prius サウンド REC] 画面の [ ヘルプ ] ボタンをクリックすると、参照できます。

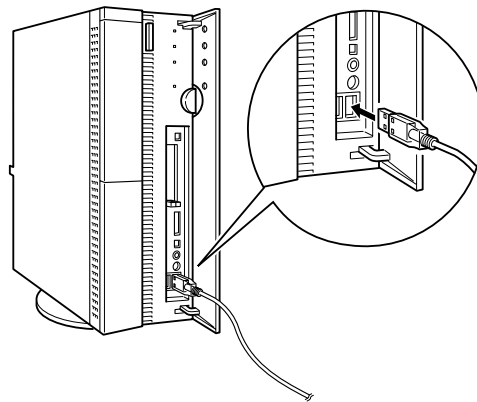
# 4 USB 機器を接続する

このパソコンには USB(Universal Serial Bus) 機器を取り付けることができます。ここでは、接続方法の一例を説明します。詳しくは、USB 機器のマニュアルをご参照ください。

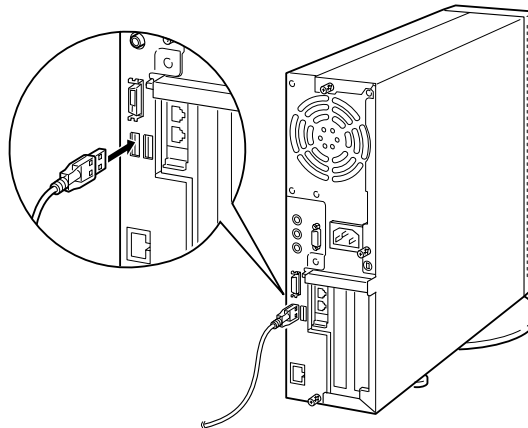
## 接続方法

- 1 USB ケーブルを前面または背面の USB コネクタに接続する。

パソコン前面への接続



パソコン背面への接続



### 重要

- ・ コネクタは、正しい向き、正しい角度で差し込んで接続してください。コネクタがきちんと差し込まれていないと、動作しなかったり、誤動作したりします。
- ・ コネクタの抜き差しは、コネクタ部分を持って行ってください。
- ・ USB コネクタは、前面 / 背面合わせて 4 つあります。どこに接続しても動作は同じです。
- ・ USB 機器によっては、電源を入れたまま抜き差しができない機器があります。
- ・ USB 機器によっては、「ハードウェアの取り外し」を行わないと、安全に取り外せないことがあります。

**参照** 詳細について 「PC カードを使う」の「取り出し手順」

**参照** 詳細について USB 機器付属のマニュアル

### ヒント

- ・ 接続しても USB 機器が動作しない場合は、パソコンおよび USB 機器の電源をすべて切ってから接続し直し、USB 機器、パソコンの順で電源を入れ直してみてください。

# i.LINK 機器を接続する

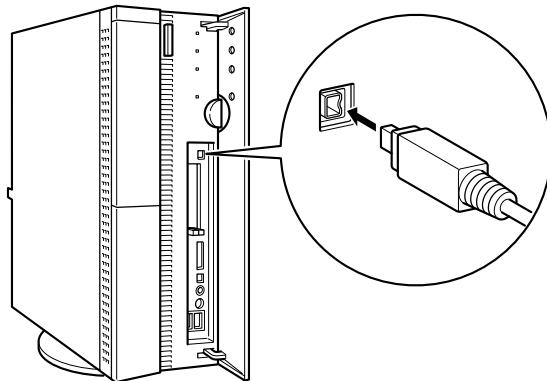
このパソコンには、デジタルビデオカメラなどの i.LINK 機器を取り付けることができます。ここでは、接続方法の一例を説明します。詳しくは、i.LINK 機器のマニュアルをご参照ください。

## i.LINK 機器接続の準備

- 1 [コントロール パネル] の [システム] をダブルクリックする。  
[システムのプロパティ] が表示される。
- 2 [ハードウェア] タブで [デバイスマネージャ] ボタンをクリックする。  
[デバイスマネージャ] が表示される。
- 3 「1394 バスホストコントローラ」 - 「OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller」の順にダブルクリックし、[OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller のプロパティ] を開く。
- 4 [全般] タブの [デバイスの使用状況] で、[このデバイスを使う (有効)] を選ぶ。
- 5 [OK] ボタンをクリックする。

## 接続方法

- 1 4 ピンタイプの i.LINK ケーブル (市販品) をパソコン前面の i.LINK S400 コネクターに接続する。



**重要**

- ・ コネクタは、正しい向き、正しい角度で差し込んで接続してください。コネクタがきちんと差し込まれていないと、動作しなかったり、誤動作したりします。
- ・ コネクタの抜き差しは、コネクタ部分を持って行ってください。
- ・ i.LINK 機器によっては、電源を入れたまま抜き差しができない機器があります。

**参照** 詳細について i.LINK 機器付属のマニュアル

## 2 i.LINK ケーブルのもう一方のコネクタを、デジタルビデオカメラなどの i.LINK コネクタに接続する。

**ヒント**

- ・ 接続しても i.LINK 機器が動作しない場合は、パソコンおよび i.LINK 機器の電源をすべて切ってから接続し直し、i.LINK 機器、パソコンの順で電源を入れ直してみてください。
- ・ i.LINK 機器によっては、「ハードウェアの取り外し」を行わないと、安全に取り外せないことがあります。

**参照** 詳細について 「PC カードを使う」の「取り出し手順」

# 光デジタルオーディオ機器を接続する

このパソコンには、光デジタル入力可能な MD レコーダーなどの光デジタルオーディオ機器を取り付けることができます。さらに、光デジタル入力端子付きのサラウンドアンプなどを接続し、映画館で聴いているような音声で聴くこともできます。

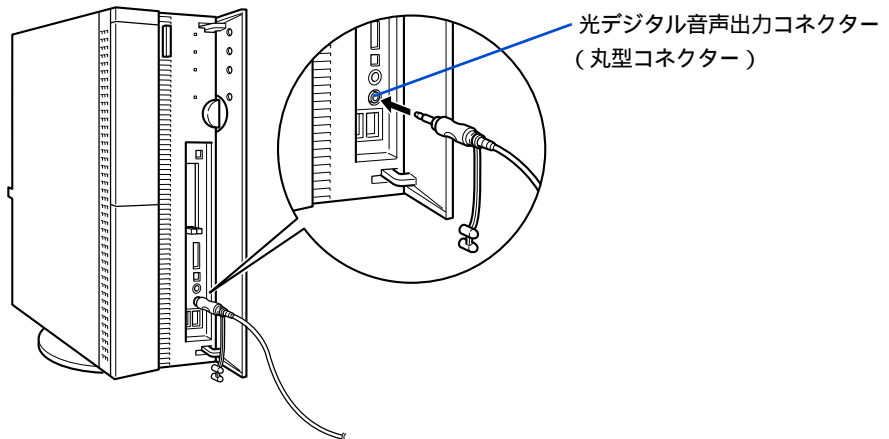
ここでは、接続方法の一例を説明します。詳しくは、光デジタルオーディオ機器のマニュアルをご参照ください。

## 接続方法

### 1 光デジタルケーブル（市販品）を光デジタル音声出力コネクタに接続する。

#### ヒント

- 光デジタルケーブルのコネクタには、角型と丸型があります。パソコン側のコネクタは、丸型です。接続する機器の形状に合わせてケーブルをご購入ください。



#### ヒント

- 接続しても光デジタルオーディオ機器が動作しない場合は、パソコンおよび光デジタルオーディオ機器の電源をすべて切ってから接続し直し、光デジタルオーディオ機器、パソコンの順で電源を入れ直してみてください。
- 5.1ch サラウンドをお楽しみいただくには、5.1ch 対応の光デジタルオーディオ機器が必要です。また、DVD 再生ソフトの、S/PDIF 出力を ON にしてください。
- DVD の音声を、光デジタル入力で MD レコーダーに録音する場合、S/PDIF 出力を OFF にし、2 スピーカーで録音してください。

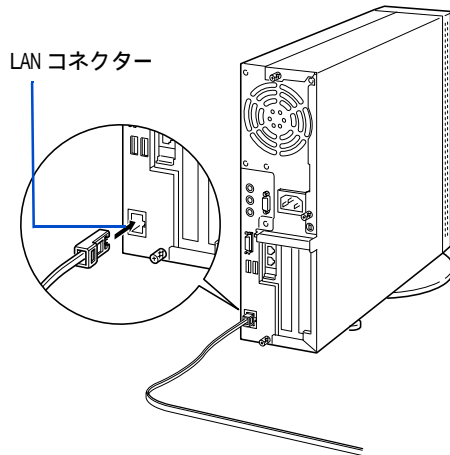


# LAN を接続する

LAN ケーブルを接続して、LAN 通信を行うことができます。  
LAN ケーブルの接続方法を説明します。

## 接続方法

- 1 パソコンの電源を切り、周辺機器が接続されている場合は、周辺機器の電源を切る。
- 2 パソコン背面の LAN コネクターに LAN ケーブル（市販品）を接続する。



### ヒント

- ・ コネクターは、正しい向き、正しい角度で差し込んで接続してください。コネクターがきちんと差し込まれていないと、動作しなかったり、誤動作したりします。
- ・ コネクターの抜き差しは、コネクター部分を持って行ってください。

### 重要

- ・ このあと、ソフトウェアの設定などが必要です。

**参照** LAN でインターネットに接続する一般的な設定 『始めよう！インターネット』1章の「LAN でインターネットに接続する」

- ・ LAN の設定については有償でご案内しています。有償サービスについては FLORA 安心コールセンターにお問い合わせください。

**参照** お問い合わせ先 『困った時の Q&A』3章

- ・ パソコン背面の LAN コネクターに、ISDN ケーブルを接続しないでください。

# 4 PC カードを使う

このパソコンには、PC カードスロットが2つ用意されています。PC カードスロットには、SCSI カードなどの PC カードを取り付けることができます。

PC カードスロット	取り付けられる PC カード
スロット 1	TYPE I × 1 / TYPE II × 1 / TYPE III × 1、Card Bus 対応
スロット 2	TYPE I × 1 / TYPE II × 1、Card Bus 対応

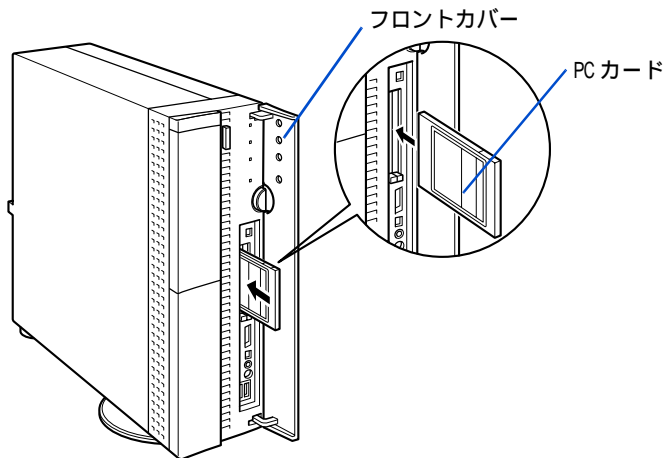
PC カードを取り付けるときは、あらかじめ付属のマニュアルを読み、取り付け方法を理解した上で取り付けてください。

## ヒント

- ・ Type III の PC カードは厚いため、1枚しか取り付けられません。

## 挿入手順

- 1 PC カードの形状を確認して、カチッとロックされるまで PC カードを差し込む。



## 重要

- ・ PC カードが正しく取り付けられたかご確認ください。確認方法については、付属のマニュアルをご参照ください。
- ・ PC カードの形状によっては、PC カードを入れた状態ではフロントカバーを閉じられないことがあります。

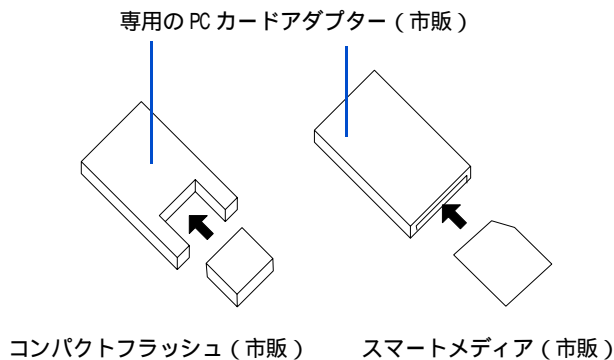
## ヒント

- ・ 接続しても PC カードが動作しない場合は、一度取り出し、パソコンの電源を切ってから入れ直してみてください。

スマートメディアやコンパクトフラッシュの場合は、次のように専用の PC カードアダプターに接続してから、PC カードアダプターをパソコンの PC カードスロットに接続する。

ヒント

- ・ スマートメディアやコンパクトフラッシュは、デジタルカメラなどの記憶メモリーです。

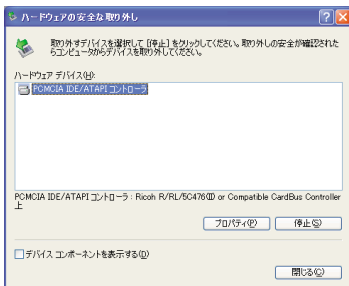


## 取り出し手順

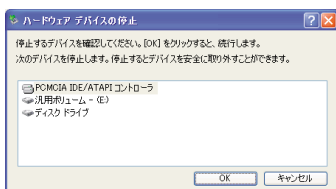
重要

- ・ 次の手順で取り出さないと、カードが壊れることがあります。

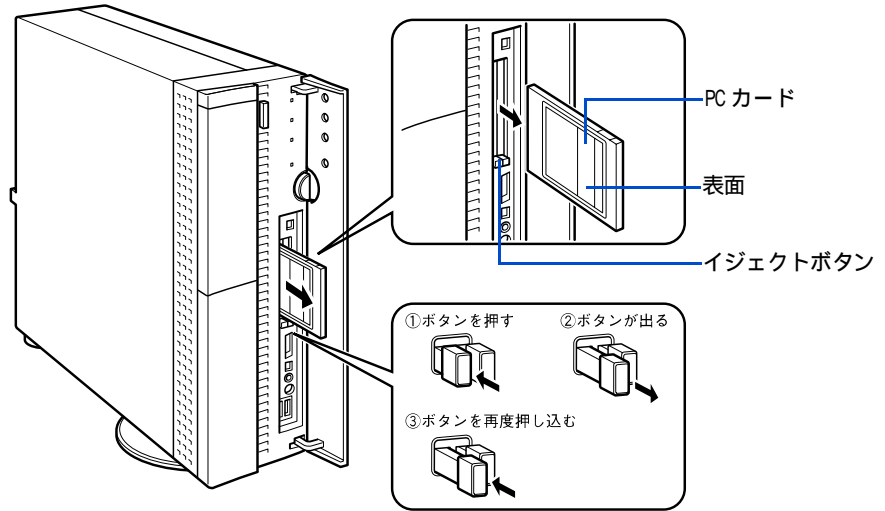
- 1 Windows のタスクバーの アイコンを右クリックし、[ ハードウェアの安全な取り外し ] をクリックする。  
[ ハードウェアの安全な取り外し ] が表示される。



- 2 [ 停止 ] をクリックする。  
[ ハードウェアデバイスの停止 ] が表示される。



- 3 取り外す PC カードをクリックして選択し、[OK] ボタンをクリックする。  
[ ~ は安全に取り外すことができます ] と表示される。
- 4 [ 閉じる ] ボタンをクリックする。
- 5 イジェクトボタンを押し、手前にイジェクトボタンが出てきたらまっすぐに押し込み、PC カードが出てきたことを確認して引き抜く。



# SD メモリーカードを使う

このパソコンには、SD ダイレクトスロットが1つ用意されています。SD ダイレクトスロットには、SD メモリーカードと MMC( マルチメディアカード ) を取り付けることができます。

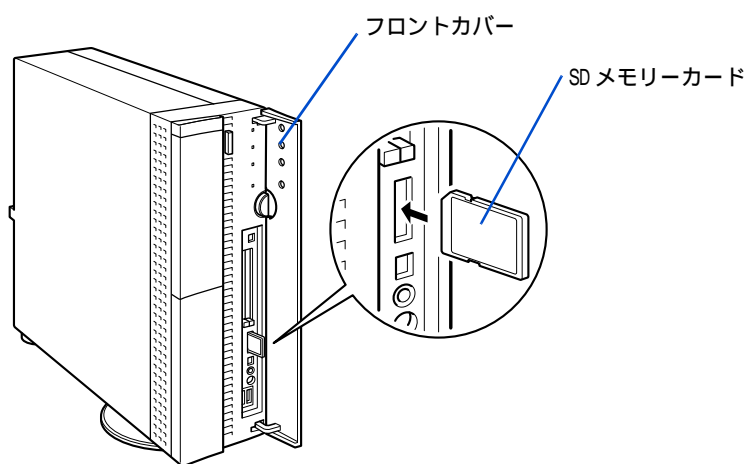
SD メモリーカードと MMC を取り付けるときは、あらかじめ付属のマニュアルを読み、取り付け方法を理解した上で取り付けてください。

3

パソコンを拡張する

## 挿入手順

- 1 SD メモリーカードまたは MMC の向きを確認して、SD メモリーカードまたは MMC を奥まで差し込む。



### 重要

- ・ SD メモリーカードまたは MMC が正しく取り付けられたかご確認ください。確認方法については、SD メモリーカードまたは MMC に付属のマニュアルをご参照ください。

### ヒント

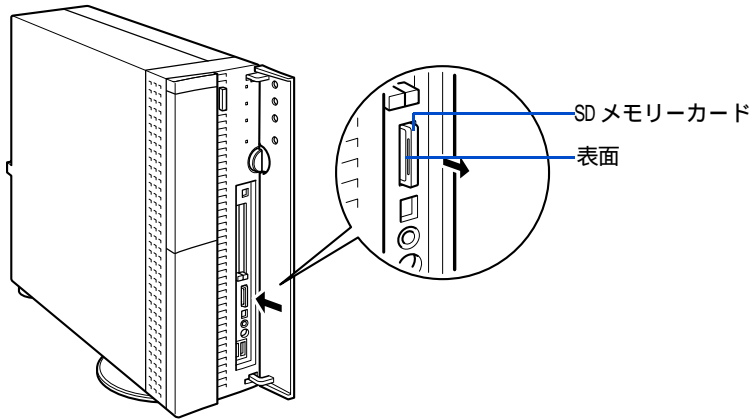
- ・ 接続しても SD メモリーカードまたは MMC が動作しない場合は、一度取り出し、パソコンの電源を切ってから入れ直してみてください。

## 取り出し手順

**重要**

- ・ 次の手順で取り出さないと、カードが壊れることがあります。

- 1 SDメモリーカードまたはMMCを押し、手前に少し出てきたら表面の溝の部分につめを引っかけて手前に引き抜く。



# ディスプレイを複数接続する

2台目のディスプレイを接続すると、2台のディスプレイに同じ画面を表示（同時表示）することができます。

## 接続できる2台目のディスプレイについて

ディスプレイを2台接続する場合は、2台目に、アナログコネクタで使用するアナログインタフェースディスプレイ（以下、アナログI/Fディスプレイ）が接続できます。

### 重要

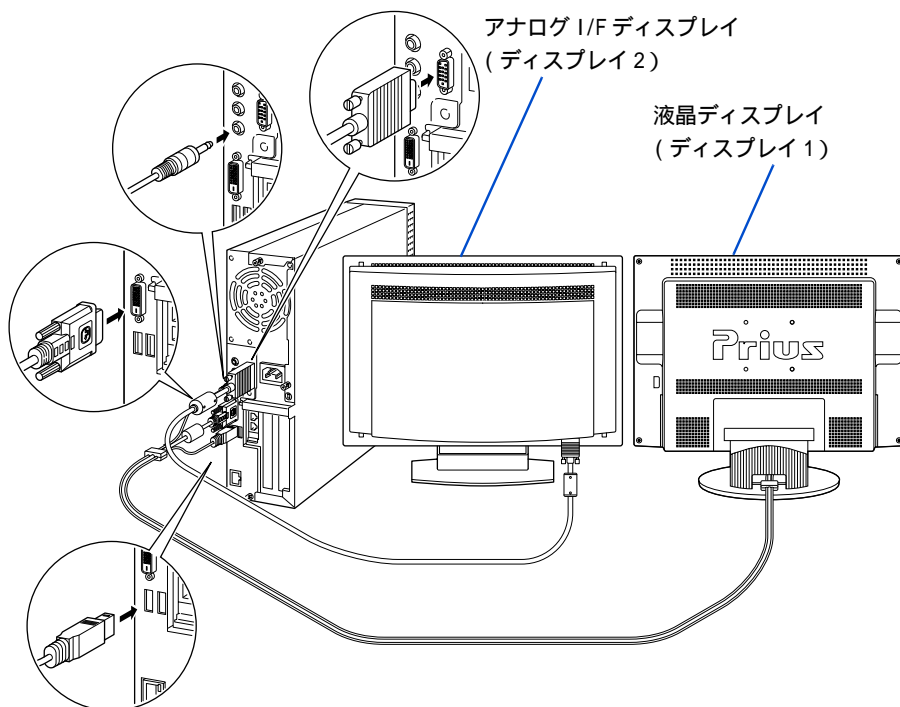
- ここで、説明するデジタルコネクタは、DVI規格のデジタルコネクタです。

### ヒント

- ディスプレイを2台接続して同時表示を行うときは、アナログディスプレイのリフレッシュレートは、デジタルディスプレイのリフレッシュレートと同じになります。
- 画面を拡大して、2台のディスプレイに表示するマルチディスプレイ表示は行えません。

## 接続方法

パソコンにセットの液晶ディスプレイと2台目のディスプレイを次のように接続してください。接続するときは、パソコンとディスプレイの電源を切ってください。



このあと、パソコンの電源を入れると、2台のディスプレイに同じ画面が表示されます。

## 同時表示にする

2台目のディスプレイを接続して同時表示にする手順を説明します。

- 1 [スタート]ボタン - [コントロールパネル]をクリックして、[コントロールパネル]を開き、[画面]アイコンをダブルクリックする。  
[画面のプロパティ]が表示される。



- 2 [設定]タブをクリックし、[詳細設定]ボタンをクリックする。  
[モニタと S3 Graphics ProSavage + utilityのプロパティ]が表示される。
- 3 [S3 ディスプレイ]タブをクリックする。  
次の画面が表示される。



- 4 表示デバイスの選択で「CRT」と「パネル」の両方にチェックを付ける。



## ヒント

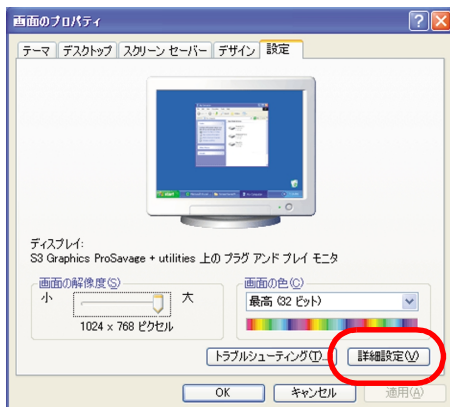
- ・ [CRT] のチェックボックスがグレーアウトしてチェックできない場合は、CRT が接続されていることをご確認ください。そのあと、パソコンを立ち上げ直して、同じ操作を行ってください。

- 5 [OK] ボタン、または [適用] ボタンをクリックする。  
[ディスプレイの設定を変更します。変更には、~] が表示される。
- 6 [OK] ボタンをクリックする。  
同時表示に切り替わり、[この設定を保存しますか?] が表示される。
- 7 [はい] ボタンをクリックする。
- 8 プロパティを閉じる。

## 表示を切り替える

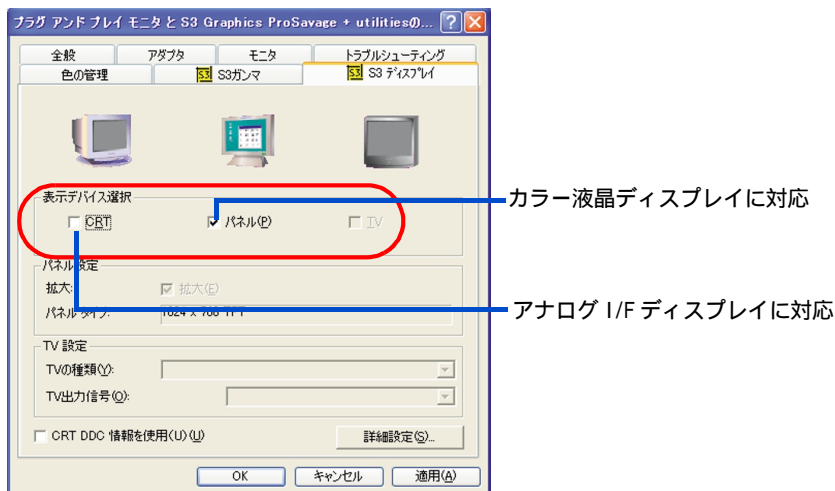
片方だけに画面を表示する場合は、次の操作で切り替えます。

- 1 [スタート] ボタン - [コントロールパネル] をクリックして、[コントロールパネル] を開き、[画面] アイコンをダブルクリックする。  
[画面のプロパティ] が表示される。
- 2 [詳細設定] ボタンをクリックする。



- 3 [S3 ディスプレイ] タブをクリックする

- 4 カラー液晶ディスプレイだけに表示させる場合は、[CRT] をクリックし、[CRT] のチェックを外す。アナログ I/F ディスプレイだけに表示させる場合は、[パネル] をクリックして、[パネル] のチェックを外す。



- 5 [OK] ボタン、または [適用] ボタンをクリックする。  
[ディスプレイの設定を変更します。変更には、~] が表示される。
- 6 [OK] ボタンをクリックする。  
片方の画面表示に切り替わり、[この設定を保存しますか?] が表示される。
- 7 [はい] ボタンをクリックする。
- 8 プロパティを閉じる。

# パソコンカバーの取り外し / 取り付け

メモリーボードなどを増設するには、パソコンカバーを取り外します。  
ここでは、メモリーボードを取り付けるまでの前準備の手順を説明します。

## 作業時の注意点

内蔵周辺機器の増設には細心の注意を払ってください。

特に、次の点は必ずお守りください。



**警告**

周辺機器の増設や接続

周辺機器を増設・接続するときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。マニュアルの説明に従い、マニュアルで使用できることが明記された周辺機器を使用してください。それ以外の周辺機器を使用すると、接続仕様の違いによる周辺機器やパソコンの故障から発煙、発火、火災や故障の原因になります。



**警告**

パソコンカバーの取り外し

パソコンカバーを取り外すときは、電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜き、すべてのケーブル類をパソコンから外してから行ってください。パソコンの電源を切っても、一部の回路には、通電しているため、思わぬ接触など作業の不具合発生時に故障や劣化による火災の原因になります。



**注意**

パソコン内が冷えるまで待つ

パソコンの電源を切った直後は、カバーやCPUの冷却フィンなど内部の部品が熱くなっています。

約30分時間をおき、熱が冷めてから増設作業を始めてください。電源を切った直後に増設作業を行うと、やけどをする危険があります。

**注意**

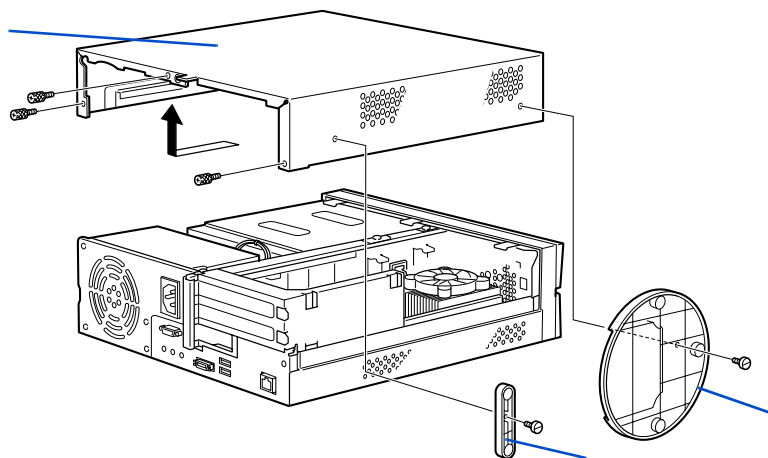
綿手袋を着用する

パソコンの移動、部品の追加などで金属やプラスチックなどの端面に触れる場合は、注意して触れてください。または、綿手袋を着用してください。けがをするおそれがあります。

**重要**

- ・ パソコンや内蔵周辺機器は精密機器です。わずかな静電気も故障の原因になります。あらかじめ金属に触れるなどして、体から静電気を逃がしておいてください。

## 取り外し手順



- 1 電源プラグを抜く。また、パソコンに接続されているケーブルをすべて外す。
- 2 縦置きで使用している場合はネジ2本を外して、円形スタンド、後スタンドを外し、パソコンを横にする。
- 3 パソコン背面にある、パソコンカバーのネジ3本を外して、パソコンカバーの背面をしっかり押さえ、後ろに引いてから持ち上げる。

### ⚠ 警告

- ・ パソコンカバーを取り外すときは、電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜き、すべてのケーブル類をパソコンから外してから行ってください。パソコンの電源を切っても、一部の回路には、通電しているため、思わぬ接触など作業の不具合発生時に故障や劣化による火災の原因になります。

### 重要

- ・ ケーブル類の抜き差しは、プラグまたはコネクタ部を持ってください。
- ・ パソコンカバーの取り外し、取り付けのときにパソコンカバーを内部のケーブルに引っかかないようにしてください。

## 取り付け手順

- 1 パソコンカバーを取り外しと逆の手順で取り付ける。
- 2 縦置きの場合は後スタンド、円形スタンドを取り外しと逆の手順で取り付ける。

# メモリーボードを取り付ける

メモリーボードを増設すると、メモリー容量を増やすことができます。  
最大 512MB まで増設できます。

## メモリーボードとメモリーボードソケットの組み合わせかた

メモリーボードは、この表の組み合わせに従って増設してください。

メモリー	ソケット	
	1(内側ソケット)	2(外側ソケット)
実装容量 * 1	1(内側ソケット)	2(外側ソケット)
256MB	256MB * 2	-
320MB	256MB	64MB
384MB	256MB	128MB
512MB	256MB	256MB
	512MB	-
576MB	512MB	64MB
640MB	512MB	128MB
768MB	512MB	256MB
1024MB	512MB	512MB

\* 1 : 実装容量は、Windows の [ システムのプロパティ ] の [ パフォーマンス ] タブで確認できます。  
この容量は目安です。

\* 2 : 出荷時のメモリー容量。

### 重要

- ソケット 1、2 の組み合わせが逆でも増設できます。

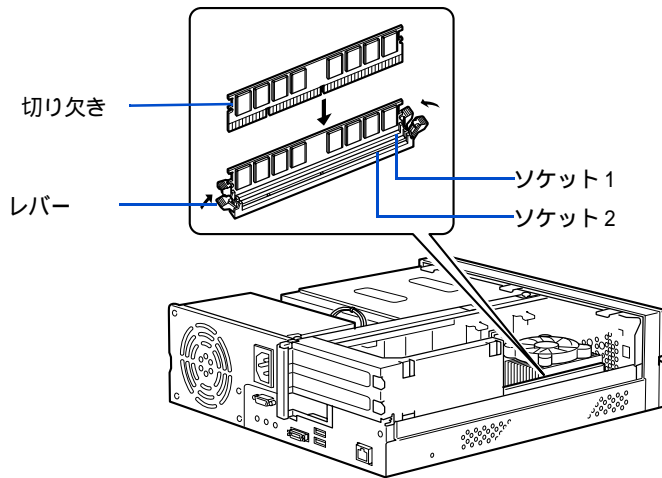
### 重要

- 仕様の異なるメモリーボードを取り付けしないでください。正常に動作しない場合があります。

**参照** メモリーボードの仕様について 7章の「メモリーボードの仕様」

## 取り付け手順

- 1 縦置きの場合、円形スタンド、後スタンド を取り外す。
- 2 パソコンカバー を取り外す。  
**参照** 取り外す方法について 「パソコンカバーの取り外し/取り付け」
- 3 メモリーボードを取り付けるソケットのレバーを外側に倒し、ソケットにメモリーボードを差し込む。少しずつ押し込み、レバーを切り欠きにかける。



### ヒント

- ・ 指が入りにくい場合は、上から割りばしなどの木の棒で押し、取り付けてください。

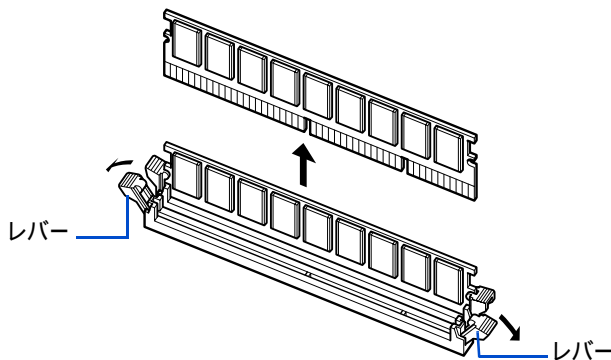
- 4 パソコンカバー を取り付ける。
- 5 縦置きの場合、後スタンド、円形スタンド を取り付ける。

### ヒント

- ・ パソコンの電源を入れ、立ち上げ時に表示されたメモリー容量が増設しただけ増えているかご確認ください。実装容量は、[コントロールパネル] - [システムのプロパティ]の[全般]タブで確認できます。ただし、メインメモリーの一部をビデオメモリーとして使用しているため、Windows で表示されるメモリー容量は、実装容量よりも少なくなります。

## 取り外し手順

- 1 縦置きの場合、円形スタンド、後スタンド を取り外す。
- 2 パソコンカバー を取り外す。  
**参照** 取り外す方法について 「パソコンカバーの取り外し/取り付け」
- 3 レバーを図の矢印の方向に倒し、メモリーボードを浮き上がらせ、ゆっくりと上に引き抜く。



- 4 パソコンカバー を取り付ける。
- 5 縦置きの場合、後スタンド、円形スタンド を取り付ける。

### ヒント

- ・ メモリー容量が取り外しただけ減っているかは、[コントロールパネル] - [システムのプロパティ] の [全般] タブで確認できます。ただし、メインメモリーの一部をビデオメモリーとして使用しているため、Windows で表示されるメモリー容量は、実装容量よりも少なくなります。

# 拡張ボードを取り付ける

## 取り付けられる拡張ボード

このパソコンには、拡張スロットが2つ用意されています。拡張スロットには、SCSIボードなどの拡張ボードを取り付けることができます。

拡張スロット	取り付けられる拡張ボード
スロット1	PCI規格（ボードサイズは、幅107mm、奥行200mm以下）
スロット2	PCI規格（ボードサイズは、幅107mm、奥行200mm以下）
スロット3	AMR規格 （モデムボード専用で使用済み。増設には使用できません）

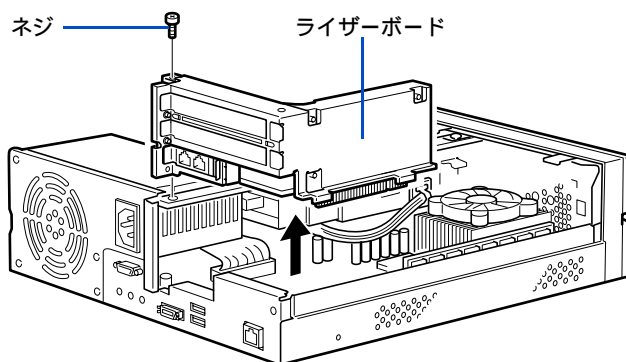
拡張ボードを取り付けるときは、あらかじめ付属のマニュアルを読み、取り付け方法を理解した上で取り付けてください。

### 重要

- ・ 拡張ボードの大きさによっては、取り付けられない場合があります。ボードサイズをご確認ください。

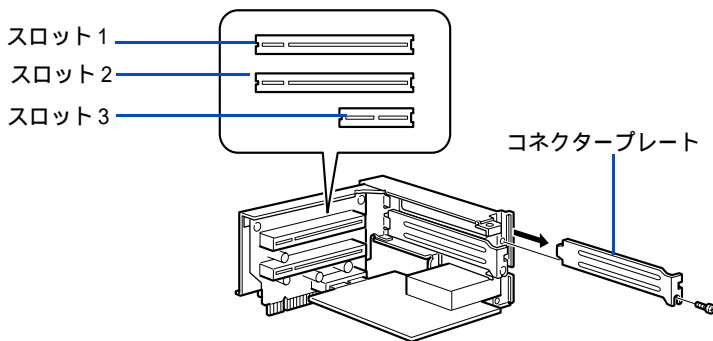
## 取り付け手順

- 1 縦置きの場合、円形スタンド、後スタンドを取り外す。
- 2 パソコンカバーを取り外す。  
参照 取り外す方法について 「パソコンカバーの取り外し/取り付け」
- 3 ネジを外し、ライザーボードを外す。





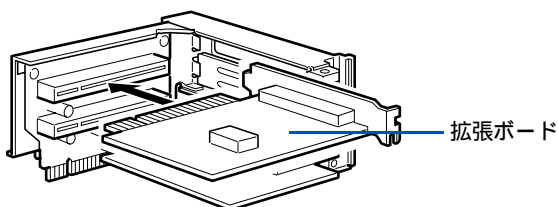
#### 4 スロットをふさぐコネクタプレートを取り外す。



##### ヒント

- ・ 取り外したコネクタプレートは大切に保管してください。

#### 5 拡張ボードをライザーボードのコネクタにしっかりと差し込む。



#### 6 ライザーボードを元のコネクタにしっかりと差し込み、ネジ止めする。

##### 重要

- ・ ライザーボードを接続するときは、メインボードやほかのボードに接触しないようにしてください。

#### 7 パソコンカバー を取り付ける。

#### 8 縦置きの場合、後スタンド 、円形スタンド を取り付ける。

##### ヒント

- ・ パソコンを立ち上げても、拡張ボードが認識されないときは、拡張ボードとライザーボードがそれぞれのコネクタにしっかりと接続されているかご確認ください。
- ・ 拡張ボードが正しく増設されたかご確認ください。

##### 重要

- ・ LAN ボードなど、通信用のボードを接続した場合は、節電機能が働かないように設定してください。

**参照** 設定について 2章の「節電機能を使わないようにするとき」

# その他の周辺機器を接続する

通常、プラグアンドプレイ機能に対応している周辺機器を接続したときは、自動的に Windows が環境を設定します。プラグアンドプレイ機能に対応していない周辺機器を接続する場合は、[新しいハードウェアの追加ウィザード]を使って手動で環境を設定します。[新しいハードウェアの追加ウィザード]を使う前に、周辺機器に付属しているマニュアルをよくお読みください。そのマニュアルに操作手順が記載されている場合は、そちらの手順を行ってください。

## ヒント

- ・ メモリーの増設などでは、環境を設定する必要はありません。
- ・ 周辺機器の取り付け・取り外しについては、この章や周辺機器に付属のマニュアルをご参照ください。

- 1 パソコンの電源を切る。
- 2 電源プラグをコンセントから抜き、周辺機器を接続する。
- 3 必要に応じて、周辺機器の電源を入れる。
- 4 パソコンの電源を入れる。

## ヒント

- ・ USB 機器や i.LINK 機器などのように、パソコンの電源が入ったままでも接続できる周辺機器もあります。

- 5 [コントロール パネル]の[ハードウェアの追加]アイコンをダブルクリックする。  
[新しいハードウェアの追加ウィザード]が表示される。
- 6 [次へ] ボタンを2回クリックする。  
新しい周辺機器の検出が始まる。
- 7 しばらくすると、「ハードウェアの検出が完了し、インストールの準備ができました」と表示される。

## ヒント

- ・ メッセージが表示されず、増設した周辺機器が見つからないときは、[次へ] ボタンをクリックし、周辺機器に付属のマニュアルを参照するなどして手動で設定してください。

- 8 [完了] ボタンをクリックする。  
検出された周辺機器のドライバーがインストールされる。

# 4

## 章

# セットアップする

この章では、  
パソコンをご購入時の状態に戻すまでのセットアップ方法と、  
ご購入時にセットアップされていないアプリケーションなどの  
セットアップ方法について説明します。

# ご購入時の状態に戻すには

パソコンをご購入時の状態に戻したいときは、パソコンをセットアップし直します。また、パソコンの使用中にエラーが何回も発生したり、パソコンが立ち上がらないときも、セットアップし直してください。

## 作業の流れ

パソコンをご購入時の状態に戻すまでの作業の流れは次の通りです。

- 1 準備する**  
セットアップする前に必要ファイルのバックアップをとります。インターネットやメールなどの設定も控えておきます。  
**参照** 詳細について 「1 準備する」
- 2 一括セットアップを行う**  
一部のアプリケーションを除いて、パソコンをご購入時の状態に戻します。  
**参照** 詳細について 「2 一括セットアップを行う」
- 3 アプリケーションをセットアップする**  
一括セットアップで元に戻らないアプリケーションをセットアップします。  
**参照** 詳細について 「3 アプリケーションをセットアップする」

## 1 準備する

次の準備を行ってください。

### 必要なファイルをバックアップする

ご購入時の状態に戻すと、ご購入後に作成したファイルや、追加したアプリケーションなど削除されます。CD-R や CD-RW などのディスクに必要なファイルをコピーしてバックアップを行ってください。

**参照** コピーの方法について 『パソコン入門』の「3. ファイルを使おう」

バックアップしたファイルを戻せるように元のフォルダーなど保存先も控えてください。

### インターネットの設定を控える

ご購入時の状態に戻したあと、加入しているプロバイダーに再び接続できるように、ユーザー名、パスワード、アカウント名など、インターネットの設定に必要な情報をメモしてください。通常は、契約時にプロバイダーから送付された書類にこれらの情報が記載されています。その場合は必要ありません。

## 拡張機器を取り外す

ご購入後に拡張機器を取り付けている場合は、取り外してください。

## BIOS の設定をご購入時の状態に戻す

BIOS の設定を変更している場合は、BIOS をご購入時の状態に戻してください。

参照 詳細について 6章の「BIOSで解決する」

## 必要なディスクを用意する

パソコンの付属の、次のディスクを使用します。

- ・『一括インストール CD Disc1、2、3』
- ・『アプリケーション CD Disc1、2』
- ・『Microsoft Office XP Personal』の CD

## 2 一括セットアップを行う

この作業を行うと、一部のアプリケーションを除いて、パソコンの HDD をご購入時の状態に戻します。

- 1 電源を入れたら、すぐに『一括インストール CD Disc1』を DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブに入れる。  
メニューが立ち上がる。

```
*****
**
** 一括インストールを行います
**
** この作業を行うと、一部のアプリケーションを除いて
** パソコンのハードディスクをご購入時の状態に戻します。
** さらに、ドライブ C のサイズを変更したり、
** ドライブ C のみご購入時の状態に戻すこともできます。
**
** 続行するとハードディスクの内容が一部消去されます。
** 必要なデータなどがある場合は一括インストールを中断して
** 先にバックアップを取ってください。
**
*****
: (1) 一括インストールを行う
+-----+
: (2) 一括インストールを中断する
+-----+
                選択 (1/2)?:
```

## 2 [1] キーを押す。

次のメッセージが表示される。

```

*****
**
** 一括インストールを行います。
**
** 一括インストールの方法を選択してください
**
*****
: (1) ハードディスクを初期化した後、一括インストールする          :
:   - ハードディスクのデータはすべて削除されます。                :
:   - 新たにドライブ C の容量を設定できます。                       :
+-----+
: (2) 現在のドライブ C だけを一括インストールする                    :
:   - 現在のドライブ C の内容は消去されます                          :
:   - ドライブ C 以外のドライブは消去されません。                   :
:   - ドライブ C の容量は変更できません。                           :
+-----+
: (3) 一括インストールを中断する                                     :
+-----+
                               選択 (1/2/3)?:

```

## ヒント

- ・ (1) を選ぶと、OS をドライブ C に回復します。  
ドライブ C 以外のドライブも初期化されます。
- ・ (2) を選ぶと、OS をドライブ C に回復します。  
ドライブ C 以外のドライブは初期化されません。ドライブ C のサイズは変更できません。
- ・ (3) を選ぶと OS のセットアップを中止します。

### 3

[1] または [2] キーを押す。

(1) を選んだ場合は、次の画面が現れる。

(2) を選んだ場合は、手順 7 に進む。

```
*****
**
**   新規にドライブ C をハードディスクに作成した後   **
**   一括インストールを行います。                     **
**
** < 警告 >                                           **
**   続行するとハードディスクの内容はすべて消去されます。 **
**   必要なデータなどがある場合は一括インストールを中断して **
**   先にバックアップを取ってください。               **
**
**   一括インストールを続行しますか？                 **
**
*****
: (1) 続行                                           :
:   - ハードディスクを初期化し、一括インストールを行います。 :
+-----+
: (2) 一括インストールを中断する                       :
+-----+
                               選択 (1/2)?:
```

#### ヒント

- ・ (1) を選ぶと、ハードディスクの初期化を行ったあと、新規に作成するドライブ C のサイズ変更画面へ進みます。
- ・ (2) を選ぶと、セットアップを中止します。

#### 重要

- ・ (1) の選択後ハードディスクの内容はすべて消去されます。必要なデータなどがある場合はセットアップを中止して先にバックアップを取ってください。
- ・ (1) の選択後はセットアップを中止できません。

## 4

セ  
ッ  
ト  
ア  
ッ  
プ  
す  
る

4 [1] キーを押す。  
ドライブ C のサイズ変更画面が表示される。

```

*****
**
**   ハードディスクに新規に作成するドライブ C のサイズを   **
**   指定します。                                           **
**                                                           **
**   設定可能なドライブ C のサイズの範囲は                 **
**       最小値：XXXXXXXX MB                               **
**       最大値：XXXXXXXX MB                               **
**   です。                                                 **
**                                                           **
**   設定可能なサイズの範囲内でドライブ C のサイズを入力した後、 **
**   Enter キーを押してください (サイズの単位は MB)。     **
**   サイズを入力しないで Enter キーを押すと             **
**       デフォルト値：XXXXXXXX MB                         **
**   で新規にドライブ C を作成します。                     **
**                                                           **
*****
ドライブ C のサイズを入力してください：

```

5 新規に作成するドライブ C のサイズを入力する。  
サイズを変更する場合は、設定範囲内でサイズを入力したあと、[Enter] キーを押す。  
デフォルト値のサイズを使用する場合はそのまま [Enter] キーを押す。  
次のメッセージが画面下に表示される。

```

指定されたドライブ C のサイズ XXXXXXXXXXX MB
これでよろしいですか？ ( Y = はい / N = いいえ ) :

```

**ヒント**  
・ ドライブ C のサイズをご購入時の状態に戻すには、最大値を入力してください。

6 指定したドライブ C のサイズに問題がなければ [Y] キーを押して手順 8 に進む。  
[N] キーを押すと手順 4 に戻る。



- 7 手順2で(2)を選んだ場合は、次の画面が表示されるので、[1]キーを押して次に進む。

```

*****
**
**      現在のドライブ C に一括インストールを行います。      **
**
** <警告> **
**      続行するとドライブ C の内容はすべて消去されます。      **
**      必要なデータなどがある場合は一括インストールを中断して **
**      先にバックアップを取ってください。 **
**
**      現在のドライブ C に対して一括インストールを行いますか? **
**
*****
: (1) 現在のドライブ C に一括インストールする                :
:      ドライブ C のみを初期化し、一括インストールを行います。  :
+-----+
: (2) 一括インストールを中断する                            :
+-----+
                               選択 (1/2)?:

```

**ヒント**

- ・ (1) を選ぶと、既存のドライブ C に OS をセットアップします。ドライブ C 以外のドライブは初期化されません。
- ・ (2) を選ぶと、OS のセットアップを中止します。

**重要**

- ・ 使用環境によっては、手順2の(2)の選択後に上記の画面が表示されない場合があります。この場合 [1] キーを押すと手順2で [1] キーを選択したときと同様にドライブ C 以外のパーティションも初期化します。上記の画面が表示されない場合は、画面の指示に従って [2] キーを押して回復作業を中断するか、[1] キーを押して手順3へ進んでください。

- 8 OSの回復作業中に「Insert next media and press enter to continue...」というメッセージが表示されたら、『一括インストール CD Disc\*』に入れ替える。

- 9 [OK] ボタンが選択されているのを確認したあとに [Enter] キーを押す。OSの回復作業終了画面が表示される。

```

*****
**
**      Microsoft (R) Windows (R) XP Home Edition      **
**
**      一括インストールは正常に終了しました。 **
**
**      パソコンから CD - ROM を抜いた後、 **
**      CTRL と ALT を押しながら DEL キーを押してパソコンを **
**      再起動してください。 **
**
*****

```

- 10 パソコンから CD-ROM を取り出し、パソコンを立ち上げ直す。

# 11 以降、Windows XP のセットアップ手順に従って、Windows 環境をセットアップする。

**参照** 詳細について 『接続と準備』の「3. 電源を入れよう」「使用許諾契約に同意しよう」

## 3 アプリケーションをセットアップする

一括セットアップで、元に戻らないアプリケーションをセットアップします。HDD イメージと『アプリケーション CD Disc1、2』、添付ソフトウェアの CD-ROM などを使います。

### HDD イメージからのセットアップ

#### 重要

- ・ フォルダーやファイルを消去すると、セットアップができなくなります。

- 1 [スタート] ボタン - [マイ コンピュータ] をクリックする。  
[マイ コンピュータ] が表示される。
- 2 [ローカルディスク (c:)] - [Documents and Settings] の順にダブルクリックする。  
[Documents and Settings] が表示される。
- 3 [All Users] - [AP\_Setup] の順にダブルクリックする。  
[AP\_Setup] が表示される。
- 4 [INSTMENU] をダブルクリックする。  
[アプリケーション インストールメニュー] が表示される。
- 5 次のアプリケーションにチェックマークを付け、それ以外のアプリケーションのチェックマークを消す。



**重要**

- ・ [スタート]メニューに登録されているプログラムフォルダー名は変更しないでください。インストールするアプリケーションを正常に判断できなくなります。

6 [インストール] ボタンをクリックする。  
セットアップが始まり、アプリケーションごとにインストール開始確認画面が表示される。[キャンセル] ボタンをクリックすると、セットアップは中止される。

7 [OK] ボタンをクリックする。  
ほとんどのアプリケーションは、これでセットアップが始まり、プログラムのインストール先フォルダーを指定する画面が表示される。

8 次のアプリケーションのインストールの場合は、本章の「アプリケーションのセットアップ」の「各アプリケーションの制限や設定」を参照してインストールを行う。

- ・ インターネット CITY
- ・ ASAHI ネットサインアップ
- ・ @nifty でインターネット
- ・ AOL
- ・ インターネットするなら BIGLOBE
- ・ So-net 簡単スターター

**参照** 詳細について 本章の「各アプリケーションの制限や設定」

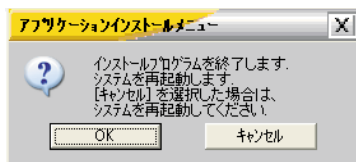
**重要**

- ・ アプリケーションのインストール中に、ほかのアプリケーションのインストール開始の確認画面が表示される場合があります。現在インストールしているアプリケーションが終了してから、インストール開始の確認画面で [OK] [はい] [完了] のいずれかのボタンをクリックしてください。

9 必要に応じてインストール先フォルダーを変更し、[継続] ボタン ([実行] ボタン、[確認] ボタン、[OK] ボタンの場合もある) をクリックする。  
セットアップが終了すると、「セットアップが終了しました。」などの終了メッセージが表示される。

10 [OK] [はい]、[完了] のいずれかのボタンをクリックする。  
次にセットアップするアプリケーションがある場合は、次のアプリケーションのセットアップが始まり、インストール開始確認画面が表示される。

11 チェックしたアプリケーションの数だけ、手順5～8を繰り返す。  
終了すると、次の画面が表示される。



12 [OK] ボタンをクリックする。  
Windows が立ち上げ直される。

**重要**

- ・ アプリケーションによっては、セットアップ中に画面表示が数 10 秒間変化しない場合があります。しばらくお待ちください。

**13** [OK] ボタンをクリックする。

Windows が立ち上げ直される。

## アプリケーション CD からのセットアップ

**1** 『アプリケーション CD Disc1』を DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブに入れる。

**2** [スタート] ボタン - [ファイル名を指定して実行] をクリックする。  
[ファイル名を指定して実行] が表示される。

**3** d:\instmenu と入力し、[OK] ボタンをクリックする。  
d は DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブ名  
[アプリケーション インストールメニュー] が表示される。

**4** 次のアプリケーションのみチェックマークを付け、それ以外のアプリケーションのチェックマークを消す。



**重要**

- ・ [スタート]メニューに登録されているプログラムフォルダー名は変更しないでください。インストールするアプリケーションを正常に判断できなくなります。

**5** [インストール] ボタンをクリックする。

セットアップが始まり、アプリケーションごとにインストール開始確認画面が表示される。[キャンセル] ボタンをクリックすると、セットアップは中止される。

**6** [OK] ボタンをクリックする。

ほとんどのアプリケーションは、これでセットアップが始まり、プログラムのインストール先フォルダーを指定する画面が表示される。

7 次のアプリケーションのインストールの場合は、本章の「アプリケーションのセットアップ」の「各アプリケーションの制限や設定」を参照してインストールを行う。

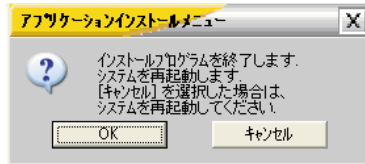
- ・ デジカメ Ninja2001
- ・ 筆ぐるめ
- ・ VirusScan
- ・ BeatJam XX-TREME
- ・ Easy CD Creator 5 Basic
- ・ AI 囲碁 /AI 将棋 /AI 麻雀
- ・ MotionDV STUDIO
- ・ Caplio RR10 Software

参照 詳細について 本章の「各アプリケーションの制限や設定」

8 必要に応じてインストール先フォルダーを変更し、[ 継続 ] ボタン ([ 実行 ] ボタン、[ 確認 ] ボタン、[ OK ] ボタンの場合もある) をクリックする。セットアップが終了すると、「セットアップが終了しました。」などの終了メッセージが表示される。

9 [ OK ] [ はい ]、[ 完了 ] のいずれかのボタンをクリックする。  
次にセットアップするアプリケーションがある場合は、次のアプリケーションのセットアップが始まり、インストール開始確認画面が表示される。

10 チェックしたアプリケーションの数だけ、手順 6 ~ 9 を繰り返す。  
終了すると、次の画面が表示される。

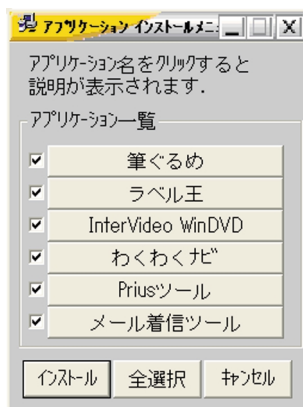


11 [ キャンセル ] ボタンをクリックする。

12 DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブの CD を『アプリケーション CD Disc2』に入れ替える。

13 d:\instmenu と入力し、[ OK ] ボタンをクリックする。  
d は DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブ名  
[ アプリケーション インストールメニュー ] が表示される。

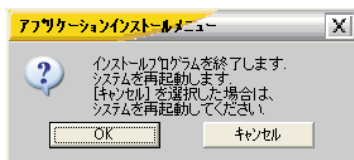
14 次のようにインストールされていないアプリケーションにチェックマークを付ける。



**重要**

- ・ [スタート]メニューに登録されているプログラムフォルダー名は変更しないでください。インストールするアプリケーションを正常に判断できなくなります。

15 手順 5 ~ 10 を繰り返す。  
終了すると、次の画面が表示される。



16 [OK] ボタンをクリックする。  
Windows が立ち上げ直される。

**重要**

- ・ アプリケーションによっては、セットアップ中に画面表示が数 10 秒間変化しない場合があります。しばらくお待ちください。

## 添付ソフトウェアの CD-ROM からのセットアップ

セットアップの詳細については、各添付ソフトウェアに付属のマニュアルをご参照ください。

Microsoft Office XP Personal

# アプリケーションのセットアップ

ここでは、アプリケーションのセットアップについて説明します。ご購入時にセットアップされていないアプリケーションをセットアップする場合や、すでにあるアプリケーションをセットアップし直す場合にお読みください。

## ヒント

- ここで説明する以外の方法で特殊なセットアップを行う場合は、各アプリケーションの販売元や開発元にお問い合わせください。

**参照** お問い合わせ先 『困った時の Q&A』3章の「お問い合わせ情報」

## セットアップの前に

4

セ  
ッ  
ト  
ア  
ッ  
プ  
す  
る

### 立ち上げ直しはセットアップがすべて終了してから

アプリケーションによっては、セットアップの終了後に Windows を立ち上げ直すかどうかを選ぶメッセージが表示されることがあります。このときは「再起動しない」や「あとで再起動します」などを選んでください。選んだアプリケーションのセットアップがすべて終了すると、立ち上げ直すかどうかのメッセージが表示されますので、そこで再起動を指定してください。

### ほかのアプリケーションは終了させておく

セットアップを始める前に、ほかのアプリケーションはすべて終了してください。

### 既存のアプリケーショングループは削除しておく

すでに存在するアプリケーションを再セットアップする場合は、アプリケーションごと削除してから実行してください。削除せずに再セットアップを行うとアイコンが二重登録されることがあります。削除方法はアプリケーションによって異なり、次に説明する3つの方法のどれかになります。どれかわからない場合は、「アンインストーラーによる削除」から順に試してみてください。

## ヒント

- アンインストール中に、「共有ファイルを削除しますか?」と表示されることがあります。通常は [いいえ] ボタンを選びます。ほかのソフトウェアで使用されていないとわかっている場合は [はい] ボタンを選んでください。

**参照** 削除の方法 本章の「アプリケーションを削除する」

## 重要

- 筆ぐるめをアンインストールする時、アンインストール中に「共有ファイルの検出」ダイアログボックスが表示されます。ここで、「次回からこのメッセージを表示しない。」チェックボックスにチェックして、[はい] ボタンをクリックしてください。[いいえ] もしくは [キャンセル] ボタンをクリックするとアンインストールが正常に終了しません。
- 調べ TEL はアンインストールしないでください。個別セットアップできません。再インストールする場合は、一括インストールを行ってください。

## フォントの再セットアップはフォントファイルを削除してから

フォントファイルを再セットアップする場合は、フォントファイルを削除してから行ってください。

### フォントファイルの削除

- 1 [コントロールパネル]の[クラシック表示に切り替える]をクリックしてすべてのアイコンを表示させる。
- 2 [フォント]アイコンをダブルクリックし、「フォント」フォルダーを開く。
- 3 削除したいフォントを選び、右クリックして表示されるショートカットメニューの[削除]をクリックする。

### フォントファイルのセットアップ

アプリケーションによっては、フォントファイルはセットアップされない場合があります。このときは、アプリケーションをセットアップしたあとに、次の方法でフォントをセットアップしてください。

- 1 [コントロール パネル]の[フォント]アイコンをダブルクリックし、「フォント」フォルダーを開く。
- 2 [ファイル]メニューの[新しいフォントのインストール]をクリックする。  
[フォントの追加]が表示される。
- 3 [ドライブ]をDVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブに変更して、フォントの入っているCD-ROMなどをDVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブに入れる。
- 4 [フォルダ]をフォントの入ってるフォルダーに変更する。  
[フォントの一覧]に、選んだフォントが表示される。
- 5 [すべて選択]ボタンをクリックする。
- 6 [フォントフォルダにフォントをコピーする]にチェックマークが付いていることを確認し、[OK]ボタンをクリックする。

## アプリケーションを削除する

### アンインストーラーによる削除

- 1 [スタート]ボタン - [すべてのプログラム]をクリックし、削除するアプリケーションを選ぶ。
- 2 アンインストーラーをクリックする。



#### ヒント

- ・ [ × × × のアンインストール ] などとあるのがアンインストーラーです。アプリケーションによって名称は異なります。
- ・ アンインストーラーがない場合は、次項の「 [ プログラムの追加と削除 ] による削除方法」を行ってください。

3 画面の指示に従って操作し、アプリケーションを削除する。

## [ プログラムの追加と削除 ] による削除

1 [コントロール パネル] の [プログラム の追加と削除] をクリックし、プロパティを開く。  
削除できるアプリケーションの一覧が表示される。

2 削除するアプリケーションを選んで、[変更と削除] もしくは [削除] ボタンをクリックする。

#### ヒント

- ・ 削除するアプリケーションの名前が一覧の中にある場合は、次項の「スタートメニューの設定による削除」を行ってください。

3 画面の指示に従い、アプリケーションを削除する。

## [ スタート ] メニューの設定による削除

1 [コントロールパネル] の [タスクバーと [スタート] メニュー] をダブルクリックして、[タスクバーと [スタート] メニューのプロパティ] を開く。

2 [[スタート] メニュー] タブの [クラシック [スタート] メニュー] をクリックし、[カスタマイズ] ボタンをクリックする。  
[クラシック [スタート] メニューのカスタマイズ] が表示される。

3 [削除] ボタンをクリックする。  
[ショートカットやフォルダの削除] が表示される。

4 削除したいグループを選んで、[削除] ボタンをクリックする。  
選んだグループが削除される。

# アプリケーションのセットアップ

アプリケーションは、各ソフトウェアに付属の CD や『アプリケーション CD』を使ってセットアップします。

## ソフトウェア付属の CD からのセットアップ

セットアップ方法については、各ソフトウェアに付属のマニュアル、本章の「ご購入時の状態にするには」「3 アプリケーションをセットアップする」「添付ソフトウェアの CD-ROM からのセットアップ」をご参照ください。

### ヒント

- ・ 「一括セットアップ」では、次のアプリケーションはセットアップされません。
- ・ 表の「購入時」に 印のあるアプリケーションは、購入時にセットアップされています。

アプリケーション一覧	購入時
	: 有り x : 無し
Microsoft Office XP Personal	

## 『アプリケーション CD』からのセットアップ

セットアップで特別な制限や設定が必要なアプリケーションは、次の表の「設定」に印があります。内容は後述の「各アプリケーションの制限や設定」をご参照ください。

### ヒント

- ・ 表の「一括セットアップ」に 印があるアプリケーションは、一括セットアップの「一括インストール」でもセットアップできます。
- ・ 表の「購入時」に 印のあるアプリケーションは、購入時にセットアップされています。

アプリケーション一覧	設定	一括セットアップ	購入時	収録ディスク
	: 必要 - : 不要	: 可能 x : 不可	: 有り x : 無し	1: Disc1 2: Disc2
デジカメ Ninja2001		x		1
BeatJam XX-TREME		x		1
VirusScan		x	x	1
MotionDV STUDIO		x		1
Easy CD Creator 5 Basic	-	x		1
ホームページ Ninja		x		1
AI 将棋、AI 囲碁、AI 麻雀		x		1
Caplio RR10 Software		x		1
Prius ツール	Prius サウンド REC	-	x	2
	PriusAV ランチャー	-	x	

アプリケーション一覧	設定	一括セットアップ	購入時	収録 ディスク
	: 必要 - : 不要	: 可能 x : 不可	: 有り x : 無し	1: Disc1 2: Disc2
メール着信ツール	-	x		2
WinDVD	-	x		2
わくわくナビ	-	x		2
筆ぐるめ	-	x		2
ラベル王	-	x		2

\*: 購入時には、セットアップツールが格納されています。

- 1 『アプリケーション CD』の Disc1 ~ 2 のいずれかを DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブに入れる。
- 2 [スタート] ボタン - [ファイル名を指定して実行] をクリックする。  
[ファイル名を指定して実行] が表示される。
- 3 d:¥instmenu と入力し、[OK] ボタンをクリックする。  
d は DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブ名  
[アプリケーション インストールメニュー] が表示される。
- 4 必要なアプリケーションにチェックマークを付け、それ以外のアプリケーションのチェックマークを消す。



セットアップされていないアプリケーションは、チェックがついています。

#### 重要

- ・ [スタート] メニューに登録されているプログラムフォルダー名は変更しないでください。インストールするアプリケーションを正常に判断できなくなります。

#### ヒント

- ・ 上の画面は、『アプリケーション CD Disc1』を入れたときに表示されるものです。これ以外のアプリケーションは、『アプリケーション CD Disc2』を入れたときに、同じように表示されます。
- ・ [アプリケーション インストールメニュー]の立ち上げ時に、[スタート]メニューに登録されているプログラム名でのアプリケーションがセットアップ済みか判断します。セットアップされていないアプリケーションにチェックマークが付いています。[全選択]ボタンをクリックすると、すべてのアプリケーションにチェックマークが付き、[全選択]ボタンが[取消し]ボタンに変わります。[取消し]ボタンをクリックすると、アプリケーションのチェックマークがすべて消え、[取消し]ボタンが[デフォルト]ボタンに変わります。[デフォルト]ボタンをクリックすると、[アプリケーション インストールメニュー]立ち上げ時の状態に戻ります。

## 5 [インストール]ボタンをクリックする。

セットアップが始まり、アプリケーションごとにインストール開始確認画面が表示される。[キャンセル]ボタンをクリックすると、セットアップは中止される。

#### 重要

- ・ アプリケーションのインストール実行中に、ほかのアプリケーションのインストール開始確認画面が表示されることがあります。このような場合は、現在実行中のアプリケーションのインストールが終了してから、確認画面で[OK]ボタンをクリックしてください。

## 6 [OK]ボタンをクリックする。

ほとんどのアプリケーションは、これでセットアップが始まり、プログラムのインストール先フォルダーを指定する画面が表示される。

#### 重要

- ・ オプションの選択など指定項目が多くなっているアプリケーションもありますが、画面の指示に従ってください。特別な操作が必要な指定項目については、「各アプリケーションの制限や設定」で説明しています。

**参照** 特別な操作が必要な指定項目について 「各アプリケーションの制限や設定」

## 7 必要に応じてインストール先フォルダーを変更し、[継続]ボタン([実行]ボタン、[確認]ボタン、[OK]ボタンの場合もある)をクリックする。

セットアップが終了すると、「セットアップが終了しました。」などの終了メッセージが表示される。

## 8 [OK]ボタンをクリックする。

複数のアプリケーションをセットアップする場合は、次のアプリケーションのセットアップが始まり、インストール開始確認画面が表示される。

## 9 セットアップするアプリケーションの数だけ、手順6～8を繰り返す。

セットアップがすべて終了すると、[アプリケーション インストールメニュー]の終了メッセージが表示される。

#### 重要

- ・ アプリケーションによっては、セットアップ中に表示されるメッセージがウィンドウの裏に隠れてしまうことがあります。セットアップが停止しているように見えたときは、[Alt] + [Tab]キーでウィンドウを切り替えてください。

## 10 [OK]ボタンをクリックする。

Windows が立ち上げ直され、セットアップしたアプリケーションが使用できるようになる。

**重要**

- ・ アプリケーションによっては、セットアップ中に画面表示が数 10 秒間変化しない場合があります。しばらくお待ちください。

## 各アプリケーションの制限や設定

アプリケーションによっては、「通常のセットアップ」で説明した手順と異なる手順が必要だったり、特別な制限がある場合があります。そのようなアプリケーションをセットアップするときは、開始前に該当するアプリケーションの項目をお読みください。

**ヒント**

- ・ 各アプリケーションの情報については、アプリケーション提供元のホームページをご参照ください。
- ・ 市販のアプリケーションをご利用の場合、Windows XP で動作するか、各メーカーにお問い合わせください。

**重要**

- ・ アプリケーションは、コンピュータの管理者権限を持つユーザーで使用してください。制限ユーザーでは使用できないアプリケーションがあります。

### インターネット CITY

- ・ 使用するときは、『始めよう！ インターネット』を参照し、インターネットに接続できるように設定してください。

**参照** インターネットエクスプローラのセットアップについて 『始めよう！インターネット』

### @nifty でインターネット

- ・ 「Readme ファイルを表示する」のチェックボックスをクリックして空欄にし、[完了] をクリックします。チェックマークを付けたまま [完了] をクリックした場合は、メモ帳を終了してください。

### ASAHI ネットサインアップ

- ・ 紹介 HTML が表示されたら、インターネットエクスプローラを閉じてください。

### デジカメ Ninja2001

- ・ Readme.txt (メモ帳) が表示されたら、メモ帳を終了してください。
- ・ 「デジカメ Ninja2001」フォルダーが表示されたら、フォルダーを終了してください。

### AOL

- ・ 「コンピュータを再起動してください」と表示されたら、[いいえ] ボタンをクリックしてください。

### So-net 簡単スターター

- ・ [So-net 簡単スターター Ver.2 セットアップ (Install Shield ウィザードの完了)] が表示されたら、「So-net 簡単スターター Ver.2 の起動」のチェックボックスをクリックして空欄にし、[完了] ボタンをクリックしてください。

### インターネットするなら BIGLOBE

- ・ [InstallShield ウィザードの完了] で「続けて本製品を利用する」のチェックボックスをクリックして空欄にし、[完了] をクリックします。

### VirusScan

- ・ VirusScan の Windows XP 用差分アップデータが、次の URL からダウンロードできます。URL : <http://www.nai.com/japan/oem/oem.asp>
- ・ ユーザー切り替えはサポートしていません。

- ・ コンピュータの管理者以外のユーザー権限では、アラート機能とオンデマンドスキャン（ログ）が使用できません。
- ・ [インストールの種類] 画面では、[標準インストール]を選んで[次へ]ボタンをクリックしてください。
- ・ [McAfee VirusScan インストールウィザードを完了します。]画面では、[設定]ボタンをクリックしてください。
- ・ [McAfee VirusScan 設定]画面では、[エマージェンシーディスクを作成]と[インストール後にデフォルトのウイルス検査を実行]のチェックをはずして[次へ]ボタンをクリックしてください。エマージェンシーディスクの作成と標準のウイルス検査はインストール後も行えます。
- ・ [ウイルス定義ファイルのアップデート]画面では、[後でアップデート]をチェックして[次へ]ボタンをクリックしてください。ウイルス定義ファイルの更新は、インストール後も行えます。
- ・ [McAfee VirusScan インストール ウィザードは正常に完了しました。]画面では、[VirusScan 常駐プログラムを開始]のチェックを外して[完了]ボタンをクリックしてください。VirusScan 常駐プログラムは、パソコンを立ち上げ直すと開始されます。
- ・ VirusScan のインターネットフィルター機能は使用できません。  
使用すると Outlook Express の受信トレイの内容が消え、以降メールの受信ができなくなります。詳細については、次の URL をご参照ください。  
URL : <http://www.nai.com/japan/oem/oem.asp>

#### BeatJam XX-TREME

- ・ [ファイルの関連付け]画面では、使い方に合わせて必要なものを選んでください。
- ・ [セットアップの完了]画面では、「いいえ、後でコンピュータを再起動します」を選択して、[完了]ボタンをクリックしてください。
- ・ BeatJam をインストールする前に、他のジャストシステム社製品がインストールされていると、「わくわくナビ」から BeatJam のヘルプが見られないことがあります。その場合には、「わくわくナビ」のヘルプのリンク先を変更してください。

#### MotionDV STUDIO

- ・ 「セットアップタイプ」が表示されたら、[標準]を選択して[次へ]をクリックします。[Install Shield ウィザードの完了]が表示されたら、「いいえ、後でコンピュータを再起動します。」を選んで[完了]ボタンをクリックします。

#### ホームページ Ninja

- ・ ホームページ Ninja の画面が表示されたら、[ホームページ Ninja のインストール]をクリックします。
- ・ 「インストールを完了するには、Windows を再起動する必要があります。今再起動しますか?」と表示されたら、「いいえ、後でコンピュータを再起動します」を選択して[完了]ボタンをクリックします。

#### AI 囲碁

- ・ [お読みくださいの表示]画面では、「表示する」のチェックボックスをクリックして空欄にし、[次へ]ボタンをクリックします。チェックマークを付けたまま[次へ]ボタンをクリックした場合は、立ち上がったメモ帳を終了してください。

#### AI 将棋

- ・ [お読みくださいの表示]画面では、[読まずに終了する]ボタンをクリックしてください。[「お読みください」を開く]ボタンをクリックした場合は、立ち上がったメモ帳を終了してください。

#### AI 麻雀

- ・ [ ユーザ情報 ] が表示されたら、名前と会社名を入力してください。会社名は入力しなくてもインストールできます。
- ・ [ セットアップの完了 ] 画面で、「「お使いになる前に」を表示します」のチェックボックスをクリックして空欄にし、[ 完了 ] ボタンをクリックします。チェックマークを付けたまま [ 完了 ] ボタンをクリックした場合は、立ち上がったメモ帳を終了してください。

#### Caplio RR10 Software

- ・ 出荷時の状態では、デスクトップにはり付けてあるアイコンからもインストールできます。アンインストールや一括セットアップした場合は、『アプリケーション CD』からセットアップしてください。
- ・ [ 設定言語の選択 ] 画面が表示されたら、「日本語」を選択してください。
- ・ [ セットアップタイプ ] 画面が表示されたら、「標準」を選択してください。

# ドライバー、ユーティリティのセットアップ

ドライバーやユーティリティは標準でセットアップされています。何らかの理由でドライバーなどが壊れた場合にセットアップし直してください。

## ヒント

- ・ セットアップを行うと、ご購入時の設定と異なることがあります。
- ・ 標準のDVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブは、ドライブDです。
- ・ ドライバーやユーティリティの追加を行うと、WindowsのCD-ROMを要求するメッセージが表示されることがあります。このときは、「ファイルのコピー元」にC:\WINDOWS\i386と入力し、[OK] ボタンをクリックしてください。インストールが実行されます。

## セットアップ方法

次のドライバーやユーティリティをセットアップする方法を説明します。

- ・ 表示ドライバー
- ・ サウンドドライバー
- ・ マルチメディアキーボードドライバー
- ・ モデムドライバー
- ・ LAN ドライバー
- ・ SD ダイレクトドライバー
- ・ Acrobat Reader 5.0
- ・ CyberSupport 3.0 for HITACHI

## 重要

- ・ ドライバーのセットアップを完了後、『一括インストールCD』を取り出して、Windowsを立ち上げ直してください。ドライバーによっては、自動で立ち上げ直される場合もあります。

### 表示ドライバー

- 1 [スタート] ボタン - [ファイル名を指定して実行] をクリックする。  
[ファイル名を指定して実行] が表示される。
- 2 このパソコンに付属の『一括インストールCD Disc3』をDVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブに入れ、d:\drivers\svga\setupと入力して[OK] ボタンをクリックする。  
dはDVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブ名  
[ProSavegw ドライバセットアップ] 画面が表示される。
- 3 [次へ] ボタンをクリックする。  
[ファイルコピーの開始] 画面が表示される。
- 4 [次へ] ボタンをクリックする。  
インストールが開始され、終了後、[セットアップの完了] 画面が表示される。



- 5 「はい、直ちにコンピュータを再起動します」を選択し、『一括インストール CD』を取り出して [完了] ボタンをクリックする。  
Windows が立ち上げ直される。

ヒント

- ・ インストールの途中で「バージョンの競合」が表示された場合は、[いいえ]を選んでください。

## サウンドドライバー

サウンドドライバーが壊れたり、誤って削除（アンインストール）した場合、次の手順でサウンドドライバーをセットアップしてください。

- 1 Windows を立ち上げ、[スタート]-[コントロールパネル]の[システム]アイコンをダブルクリックする。  
[システムのプロパティ]が表示される。
- 2 [ハードウェア]タブの[デバイスマネージャ]ボタンをクリックする。  
[デバイスマネージャ]が表示される。
- 3 [サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ]-[VIA AC'97 Audio Controller(WDM)]をダブルクリックする。  
[VIA AC'97 Audio Controller(WDM)のプロパティ]が表示される。
- 4 [ドライバ]タブをクリックし、[ドライバの更新]ボタンをクリックする。  
[ハードウェアの更新ウィザードの開始]が表示される。
- 5 [一覧または特定の場所からインストールする]を選択して、[次へ]ボタンをクリックする。  
[検索とインストールオプションを選んでください]が表示される。
- 6 [次の場所で最適のドライバを検索する]を選び、「次の場所を含める」のみ選択し、DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブに『一括インストール CD Disc3』を入れて、d:¥drivers¥sound と入力後、[次へ]ボタンをクリックする。  
[ハードウェアの更新ウィザードの完了]が表示される。  
d は DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブ名
- 7 [完了]ボタンをクリックする。  
[YAMAHA AC-XG Audio Deviceのプロパティ]が表示される。
- 8 [閉じる]ボタンをクリックする。
- 9 [コントロールパネル]の[ヤマハ AC-XG]をダブルクリックする。  
[ヤマハ AC-XG]が表示される。
- 10 [デジタル出力]タブをクリックして、[デジタル出力]を「オン(すべて)」にチェックを入れる。

## 11 [OK] ボタンをクリックする。

### ヒント

- ・ インストール直後の [Volume Control] のデフォルト音量値が最大になっています。本書の [Windows の音量を調整する] を参照し、音量の調整を行ってください。

## マルチメディアキーボードドライバー

- 1 [ スタート ] ボタン - [ ファイル名を指定して実行 ] をクリックする。  
[ ファイル名を指定して実行 ] が表示される。
- 2 『一括インストール CD Disc3』を DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブに入れ、  
d:\drivers\usbkb\hkbsetup と入力し、[OK] ボタンをクリックする。  
d は DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブ名  
[Install] が表示される。
- 3 [OK] ボタンをクリックする。  
ファイルがコピーされる。
- 4 「インストールが正常終了しました。」と表示されたら、『一括インストール CD』を取り出し、[OK] ボタンをクリックする。

## モデムドライバー

モデムドライバーが壊れたり、誤って削除（アンインストール）した場合、次の手順でモデムドライバーをセットアップしてください。

- 1 Windows を立ち上げ、[ スタート ] ボタン - [ コントロールパネル ] をクリックし、[ システム ] アイコンをダブルクリックする。  
[ システムのプロパティ ] が表示される。
- 2 [ ハードウェア ] タブの [ デバイスマネージャ ] ボタンをクリックする。  
[ デバイスマネージャ ] が表示される。
- 3 [ その他のデバイス ] - [ PCI シンプル通信コントローラ ] をダブルクリックする。  
[ PCI シンプル通信コントローラのプロパティ ] が表示される。
- 4 [ ドライバの再インストール ] ボタンをクリックする。  
[ ハードウェアの更新ウィザードの開始 ] が表示される。
- 5 [ 一覧または特定の場所からインストールする ] を選択して、[ 次へ ] ボタンをクリックする。  
[ 検索とインストールのオプションを選んでください。 ] が表示される。
- 6 『一括インストール CD Disc3』を DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブに入れる。

- 7 「次の場所で最適のドライバを検索する」を選び、「次の場所を含める」のみ選択し、「d:\Drivers\Modem」と入力後、[次へ] ボタンをクリックする。  
[ハードウェアの更新ウィザードの完了]が表示される。  
dはDVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブ名

- 8 [完了] ボタンをクリックする。  
[Ambit V.90(V.92) SoftK56 AMR Modem SSID30681054のプロパティ]が表示される。

- 9 [詳細] タブで、「国または地域の選択」で「日本」を選び、[OK] をクリックする。  
[国の設定は更新されています]が表示される。

- 10 [OK] ボタンをクリックする。

ヒント

- ・ [ハードウェアのインストール]が表示された場合は、[続行]をクリックして、インストールを続けてください。

## LAN ドライバー

LAN ドライバーが壊れたり、誤って削除（アンインストール）した場合、次の手順で LAN ドライバーをセットアップしてください。

- 1 Windows を立ち上げ、[スタート] - [コントロールパネル] の [システム] アイコンをダブルクリックする。  
[システムのプロパティ]が表示される。

ヒント

- ・ [コントロールパネル]に[システム]アイコンが表示されていないときは、[クラシック表示に切り替える]をクリックすると表示されます。

- 2 [ハードウェア] タブの [デバイスマネージャ] ボタンをクリックする。  
[デバイスマネージャ]が表示される。

- 3 [ネットワークアダプタ]-[Realtek RTL8139 Family PCI Fast Ethernet NIC] をダブルクリックする。  
[Realtek RTL8139 Family PCI Fast Ethernet NICのプロパティ]が表示される。

- 4 [ドライバ] タブの [ドライバの更新] ボタンをクリックする。  
[ハードウェアの更新ウィザードの開始]が表示される。

- 5 「一覧または特定の場所からインストールする」を選択して、[次へ] ボタンをクリックする。  
[検索とインストールオプションを選んでください]が表示される。

- 6 「次の場所で最適のドライバを検索する」を選び「次の場所を含める」のみ選択し、DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブに『一括インストール CD Disc3』を入れて「d:\Drivers\LAN」と入力後、[次へ] ボタンをクリックする。  
[ハードウェアの更新ウィザードの完了]が表示される  
dはDVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブ名

- 7 [完了] ボタンをクリックする。  
[Realtek RTL8139/810X Family PCI Fast Ethernet NICのプロパティ]が表示される。

- 8 [閉じる] ボタンをクリックする。

## SD ダイレクトドライバー

SD ダイレクトドライバーが壊れたり、誤って削除（アンインストール）した場合、次の手順でSD ダイレクトドライバーをセットアップしてください。

- 1 Windows を立ち上げ、[スタート] ボタン - [コントロールパネル] をクリックし、[システム] アイコンをダブルクリックする。  
[システムのプロパティ]が表示される。
- 2 [ハードウェア] タブの [デバイスマネージャ] ボタンをクリックする。  
[デバイスマネージャ]が表示される。
- 3 [その他のデバイス] - [基本システムデバイス] をダブルクリックする。  
[基本システムデバイスのプロパティ]が表示される。
- 4 [ドライバの再インストール] ボタンをクリックする。  
[ハードウェアの更新ウィザードの開始]が表示される。
- 5 [一覧または特定の場所からインストールする] を選択して、[次へ] ボタンをクリックする。  
[検索とインストールのオプションを選んでください。]が表示される。
- 6 『一括インストール CD Disc3』をDVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブに入れる。
- 7 「次の場所で最適のドライバを検索する」を選び、「次の場所を含める」のみ選択し、「d:\Drivers\SdCard」と入力後、[次へ] ボタンをクリックする。  
[ハードウェアの更新ウィザードの完了]が表示される  
dはDVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブ名
- 8 [完了] ボタンをクリックする。  
[Ricoh SD Bus Host Adapterのプロパティ]が表示される。
- 9 [デバイスの状態] で正常に動作していることを確認の上、[閉じる] ボタンをクリックする。
- 10 SD カードを、SD ダイレクトスロットに挿入する。  
[ハードウェアの更新ウィザードの開始]が表示される。

- 11 [ 一覧または特定の場所からインストールする ] を選択して、[ 次へ ] ボタンをクリックする。  
[ 検索とインストールのオプションを選んでください。 ] が表示される。
- 12 「次の場所で最適のドライバを検索する」を選び、「次の場所を含める」のみ選択し、「D:¥Drivers¥SdCard」と入力後、[ 次へ ] ボタンをクリックする。  
[ ハードウェアの更新ウィザードの完了 ] が表示される。
- 13 [ 完了 ] ボタンをクリックする。  
[ SD 又はマルチメディアのプロパティ ] が表示される。
- 14 [ 閉じる ] ボタンをクリックし、パソコンを立ち上げ直す。

**ヒント**

- ・ [ ハードウェアのインストール ] が表示された場合は、[ 続行 ] をクリックして、インストールを続けてください。

## Acrobat Reader 5.0


- 1 DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブに『活用百科』CDを入れる。
- 2 [ スタート ] ボタン - [ ファイル名を指定して実行 ] をクリックする。  
[ ファイル名を指定して実行 ] が表示される。
- 3 d:¥install¥ar500jpn と入力し、[ OK ] ボタンをクリックする。  
d は DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブ名  
[ Adobe Acrobat 5.0 ] が表示される。
- 4 画面の指示に従ってインストールする。  
終了すると [ 情報 ] が表示される。
- 5 [ OK ] ボタンをクリックする。

## CyberSupport 3.0 for HITACHI

**重要**

- ・ 電子マニュアルをインストールしていないと、データベースが正しく作成されません。

- 1 DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブに『活用百科』CDを入れる。
- 2 [ スタート ] ボタン - [ ファイル名を指定して実行 ] をクリックする。  
[ ファイル名を指定して実行 ] が表示される。
- 3 d:¥install¥cybersupport¥setup と入力し、[ OK ] ボタンをクリックする。  
d は DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブ名  
[ CyberSupport 3.0 for HITACHI ] が表示される。

- 
- 4 [ はい ] ボタンをクリックし、画面の指示に従ってインストールする。  
「CyverSupport を実行するにはマシンの再起動が必要です。」とメッセージが表示される。
  - 5 [ 完了 ] ボタンをクリックする。  
パソコンが立ち上げ直される。

# Windows ファイルを追加セットアップする

Windows 固有のソフトウェアは次の手順でセットアップできます。必要に応じてセットアップしてください。

- 1 [スタート] ボタン - [コントロールパネル] をクリックする。
- 2 [コントロールパネル] の [プログラムの追加と削除] をクリックし、[プログラムの追加と削除] を開く。
- 3 [Windows コンポーネントの追加と削除] アイコンをクリックし、[Windows コンポーネントウィザード] を開く。
- 4 [コンポーネント] で、必要なソフトウェアにチェックマークを付ける。
- 5 1つの項目に複数のソフトウェアが含まれている。全部をセットアップしない場合は [詳細] ボタンをクリックし、必要のないソフトウェアのチェックマークを消して [OK] ボタンをクリックする。
- 6 [次へ] ボタンをクリックする。追加するファイルによっては、立ち上げ直すメッセージが表示される。その場合は、立ち上げ直すとセットアップが終了する。

# パーティションの設定

HDD を複数の領域に分け、それぞれ別のドライブとして使用する場合にはパーティション（使用可能領域）を設定し直します。

## 重要

- ・ ある程度パソコンについての知識を必要とする説明があります。初心者の方や HDD の知識をあまりお持ちでない方は、お勧めできません。特に問題がない場合は、ご購入時のままの領域でお使いください。
- ・ パーティションを設定し直すには、HDD 内のデータはすべて削除されます。あらかじめ CD-R やその他の媒体に必要なファイルのバックアップを取ってください。インターネットやメールなどの設定も控えておいてください。

- 1 電源を入れたら、すぐに『一括インストール CD Disc1』を DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブに入れる。  
メニューが立ち上がる。

```
*****
***                                     ***
*** 一括インストールを行います         ***
***                                     ***
***   この作業を行うと、一部のアプリケーションを除いて   ***
***   パソコンのハードディスクをご購入時の状態に戻します。 ***
***   さらに、ドライブ C のサイズを変更したり、         ***
***   ドライブ C のみご購入時の状態に戻すこともできます。 ***
***                                     ***
***   続行するとハードディスクの内容が一部消去されます。   ***
***   必要なデータ等がある場合は一括インストールを中断して ***
***   先にバックアップを取ってください。                 ***
***                                     ***
*****
: (1) 一括インストールを行う           :
+                                       +
: (2) 一括インストールの中断する       :
+                                       +
                                     選択 ( 1 / 2 ) ? :
```



## 2 [1] キーを押す。

次のメッセージが表示される。

```

*****
***                                     ***
***   一括インストールを行います。     ***
***                                     ***
***   一括インストールの方法を選択してください。 ***
***                                     ***
*****
: (1) ハードディスクを初期化した後、一括インストールする      :
:   - ハードディスクのデータは全て削除されます。              :
:   - 新たにドライブ C の容量を設定できます。                  :
+                                     +
: (2) 現在のドライブ C だけを一括インストールする                :
:   - 現在のドライブ C の内容は消去されます                    :
:   - ドライブ C 以外のドライブは消去されません。              :
:   - ドライブ C の容量は変更できません。                      :
+                                     +
: (3) 一括インストールを中断する                                :
+                                     +
                                     選択 ( 1 / 2 / 3 ) ? :

```

## 3 [1] キーを押す。

次のメッセージが表示される。

```

*****
***                                     ***
***   新規にドライブ C をハードディスクに作成した後           ***
***   一括インストールを行います。                             ***
***                                     ***
*** <警告>                                                       ***
***   続行するとハードディスクの内容は全て消去されます。     ***
***   必要なデータ等がある場合は一括インストールを中断して ***
***   先にバックアップを取ってください。                     ***
***                                     ***
***   一括インストールを続行しますか?                         ***
***                                     ***
*****
: (1) 続行                                                       :
:   - ハードディスクを初期化し、一括インストールを行います。 :
+                                     +
: (2) 一括インストールを中断する                                :
+                                     +
                                     選択 ( 1 / 2 ) ? :

```

#### 4 [1] キーを押す。

次のメッセージが表示される。

```

*****
***                                     ***
***   ハードディスクに新規に作成するドライブ C の   ***
***   サイズを指定します。                             ***
***                                     ***
***   設定可能なドライブ C のサイズの範囲は           ***
***   最小値：XXXXXXXX MB                             ***
***   最大値：XXXXXXXX MB                             ***
***   です。                                           ***
***                                     ***
***   - 設定可能なサイズの範囲内でドライブ C のサイズを入力した後、 ***
***   Enter キーを押してください。(サイズの単位は MB) ***
***   - サイズを入力しないで Enter キーを押すと     ***
***   デフォルト値：XXXXXXXX MB                       ***
***   で新規にドライブ C を作成します。               ***
***                                     ***
*****
ドライブ C のサイズを入力して下さい：

```

#### 5 最大サイズにするときは [Enter] キーを押す。

任意に領域を決めてドライブを作成するときは、パーティションに割り当てるサイズを入力し [Enter] キーを押す。

確認のメッセージが表示される。

##### ヒント

- ・ ここで作成したドライブがドライブCになり、自動で立ち上げドライブとして設定されます。
- ・ 任意に領域を決めて作成するドライブは、立ち上げドライブとして設定されません。
- ・ 立ち上げドライブの領域のサイズが、一括セットアップするデータより小さい場合は、一括セットアップ時、セットアップできるHDDの最大サイズまで自動で割り当て直します。

#### 6 [Y] キー、[Enter] キーを押す。

パーティションの設定が開始される。

#### 7 画面の指示に従って、DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブから取り出したあと、[Ctrl] キーと [Alt] キーを押したまま、[Delete] キーを押す。

パソコンが立ち上げ直され、[Microsoft Windows へようこそ] 画面が表示される。

#### 8 画面の指示に従って、Windows 環境をセットアップする。

**参照** 詳細について 『接続と準備』の「3. 電源を入れよう」「使用許諾に同意しよう」

##### 重要

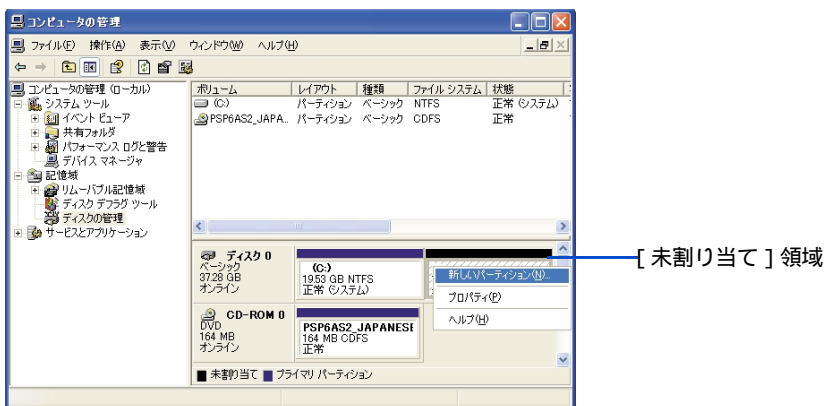
- ・ 一括セットアップを行うと「画面のプロパティ」、「色」の設定が「中(16ビット)」に変更される場合があります。必要に応じて標準値に設定し直してください。

**参照** 「画面のプロパティ」の設定について 1章の「ディスプレイを調整する」「ディスプレイの表示を変える」

#### 9 [スタート] ボタン - [コントロールパネル] をクリックする。

#### 10 [管理ツール] アイコンをダブルクリックする。

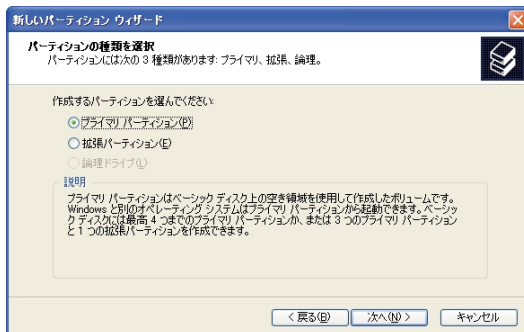
- 11 [ コンピュータの管理 ] アイコンをダブルクリックする。
- 12 [ 記憶域 ]-[ ディスクの管理 ] をクリックし、ディスクの構成を表示する。
- 13 [ 未割り当て ] 領域を右クリックし、[ 新しいパーティション ] をクリックする。  
[ 新しいパーティションウィザード ] 画面が表示される。



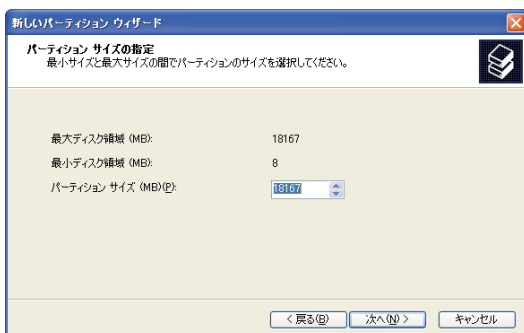
- 14 [ 次へ ] ボタンをクリックする。
- 15 [ プライマリパーティション ] または [ 拡張パーティション ] を選択し、  
[ 次へ ] ボタンをクリックする。

#### ヒント

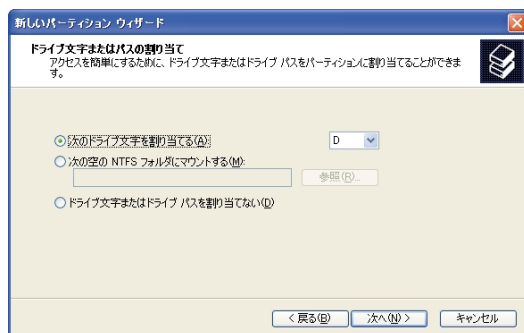
- ・ 5つ以上のパーティションを作成する場合は、[ 拡張パーティション ] を選択してください。



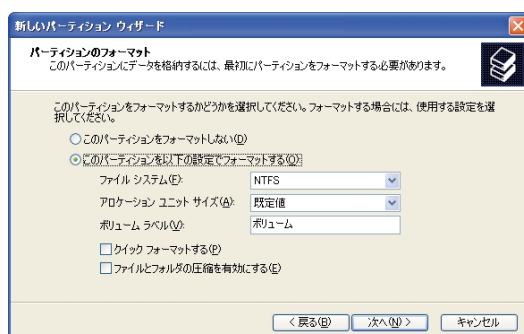
## 16 パーティションのサイズを入力し、[次へ] ボタンをクリックする。



## 17 ドライブ名を選択し、[次へ] ボタンをクリックする。



## 18 フォーマットする方法を選択し、[次へ] ボタンをクリックする。



## 19 [完了] ボタンをクリックする。 パーティションが作成され、新しいドライブができる。

# 5

## 章

# 日常のお手入れ

この章では、

パソコンの各部分および周辺機器のお手入れについて説明します

# パソコンのお手入れ

ここではパソコンのお手入れについて説明します。

パソコンのお手入れをするときは、パソコンの電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。

## 重要

- ・ シンナーやベンジン、化学雑巾は使わないでください。パソコンの表面が変質するおそれがあります。

## パソコンのお手入れ

パソコンが汚れたときは、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、水か中性洗剤で湿らせた布を固く絞って拭くか、オフィスクリナーなど、市販の専用クリーナーをお使いください。

# マウスのお手入れ

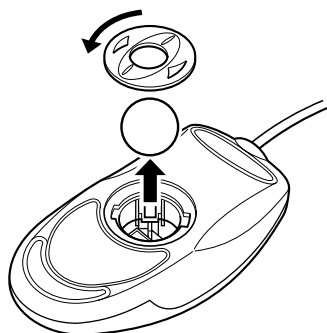
1～3カ月に1回はマウスをクリーニングすることをお勧めします。また、ボールにゴミが付着するなどして正しく動かないときは、クリーニングをしてください。

## ヒント

- ・ ボールは中性洗剤を薄めた水で洗ってください。漂白剤、シンナー、ワックス、クリーム、油剤などは使用しないでください。  
また、化学雑巾やワックスが付いた布でボールを拭かないでください。ワックスなどの皮膜が付着するとボールがスリップする原因になります。

## クリーニング手順

- 1 マウス底面の中央にあるフタを図のように反時計回りに回す。  
フタを外して、中のボールを取り出す。



- 2 ボールを中性洗剤を薄めた水で洗う。
- 3 乾いた布で水分を拭き取り、十分に乾燥させる。
- 4 乾いた布でマウスの内部や、内部のローラーのゴミやホコリを取り除く。
- 5 マウスにボールを入れ、取り外したときと逆の手順でフタを取り付ける。



# ディスクドライブのお手入れ

## DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブのクリーニング

データ読み込み時にエラーが頻繁に発生する場合は、市販のクリーニングディスクを用い、クリーニングしてください。クリーニングの方法は、クリーニングディスク付属のマニュアルをご参照ください。

### 重要

- ・ クリーニング液を使用する湿式レンズクリーナは、使用しないでください。ドライブ内部のレンズを傷つける原因になります。

### ヒント

- ・ クリーニングディスクは、パソコンショップでご購入ください。



# 6

## 章

# トラブルと思ったら

この章では、

パソコンの電源を入れたときのエラーと対処方法を説明します。

あわせてこの章を参照して対処してください。

このほかのトラブルについては、『困った時のQ & A』をご参照ください。

# 電源を入れたときの異常

## エラーメッセージが表示されたら

パソコンの電源を入れたときにエラーメッセージが表示されたときは、次のように対処してください。

エラーメッセージ	推測される原因	対処方法
CMOS Battery Has Failed	CMOS のバッテリーがなくなった	* 1
CMOS Checksum Error	CMOS-RAM エラー	* 1
DISK BOOT FAILURE, INSERT SYSTEM DISK PRESS ENTER	立ち上げドライブの設定が誤っている 接続されたディスクドライブが不良である可能性 がある 接続が不完全である	* 2, 3
DISK BOOT FAILURE, INSERT SYSTEM DISK PRESS ENTER	接続されているディスクタイプが、BIOS メニューの設定と異なる	* 1
ERROR ENCOUNTERED INITIALIZING HARD DRIVE	HDD の初期化に失敗した	* 2, 3
ERROR INITIALIZING HARD DISK CONTROLLER	HDD コントローラーでエラーが発生した	* 1
KEYBOARD ERROR OR NO KEYBOARD PRESENT	キーボードでエラーを検出した キーボードが接続されていない	* 3
Memory Address Error at...	SDRAM、DIMM、増設されたメモリーボードが不良であると考えられる	* 1
Memory Parity Error at...	メモリーパリティエラーが発生した	* 1
Memory Verify Error at...	メモリーでエラーが発生した	* 1
FLOPPY DISK(S) fail(80) unable to reset floppy sub-system	フロッピーディスクが不良である可能性がある 接続が不完全である	* 3
FLOPPY DISK(S) fail(40) Floppy Type mismatch		
HDD DISK(S) fail(80) HDD reset failed	ハードディスクドライブが不良である可能性がある セットアップメニュー中のハードディスクタイプが誤っている 接続が不完全である	* 2, 3
HDD DISK(S) fail(40) HDD controller diagnostics failed		
HDD DISK(S) fail(20) HDD controller initialization error		
HDD DISK(S) fail(10) Unable to recalibrate fixed disk		
HDD DISK(S) fail(08) Sector Verify failed		
Keyboard is locked out-Unlock the key	キーボードで使用できないキーがある	* 3

エラーメッセージ	推測される原因	対処方法
BIOS ROM checksum error-System halted	BIOS を書き込んだ ROM から設定を正しく読み出せない、または設定が消去された	* 1
Memory test fail	メモリーテストでエラーが発生した	* 1

\* 1 : お買い求め先にご連絡ください。

\* 2 : セットアップメニューを参照し、正しい情報に設定してください。それでもエラーになるときは、お買い求め先にご連絡ください。

\* 3 : 正しく接続されているかご確認ください。それでもエラーになるときは、お買い求め先にご連絡ください。

# BIOS で解決する

BIOS (バイオス) は、パソコンのメモリーや HDD などハードウェアの環境を設定するソフトウェアです。日常使う場合は、操作する必要がありません。マニュアルで説明する以外の設定は、変更しないでください。

## BIOS メニューの立ち上げと終了

パソコンが正しく動かなくなってお問い合わせしたときに、BIOS の設定を確認したり変更するように言われることがあります。ここでは、このようなときのために、BIOS の立ち上げ方と終わり方について説明します。

### 立ち上げる

1 パソコンの電源を入れる。

パソコンの立ち上げ中、画面下部に「Press Tab to show POST screen, <Del> SETUP, <F12> Boot Menu」と表示されたら、[Delete] キーを押す。

BIOS メニューが立ち上がる。

CMOS Setup Utility      Copyright (C) 1984-2001 Award Software	
• Standard CMOS Features	Load Setup Defaults
• Advanced BIOS Features	Set Supervisor Password
• Advanced Chipset Features	Set User Password
• Integrated Peripherals	Save & Exit Setup
• Power Management Setup	Exit Without Saving
• PnP/PCI Configurations	
Esc : Quit	: Select Item
F10 : Save & Exit Setup	

## 終了する

- 1 [F10] キーを押す。  
メッセージが表示される。

SAVE to CMOS and EXIT (Y/N)?

### ヒント

- ・ [ ] [ ] [ ] [ ] キーで「Save & Exit Setup」を選び、[Enter] キーを押しても同じ操作ができます。
- ・ 変更した内容を保存したくないときは、[Esc] キーを押すか [ ] [ ] [ ] [ ] キーで「Exit Without Saving」を選び、[Enter] キーを押してください。

- 2 [Y] キーを押し、[Enter] キーを押す。  
BIOS メニューが終了し、パソコンが立ち上げ直されます。設定を変更しているときは、その内容は保存されます。

## BIOS の設定をご購入時の状態に戻す

BIOS の設定をご購入時の状態に戻す（初期化する）ことで解決できる問題もあります。購入時の状態から設定を変更している場合は、設定内容をあらかじめ控えておき、BIOS を初期化したあとに設定し直してください。

### 重要

- ・ BIOS の設定を初期化しても内蔵タイマーの日付と時刻は変更されません。

### ヒント

- ・ PC カードを取り付けているときは、取り付けた PC カードをパソコンから取り外してください。外さないと正しく動作しない場合があります。

**参照** PC カードの取り外しについて 3章の「PC カードを使う」

- ・ 拡張ボードを増設しているときは、増設した拡張ボードをパソコンからすべて取り外してください。外さないと正しく動作しない場合があります。

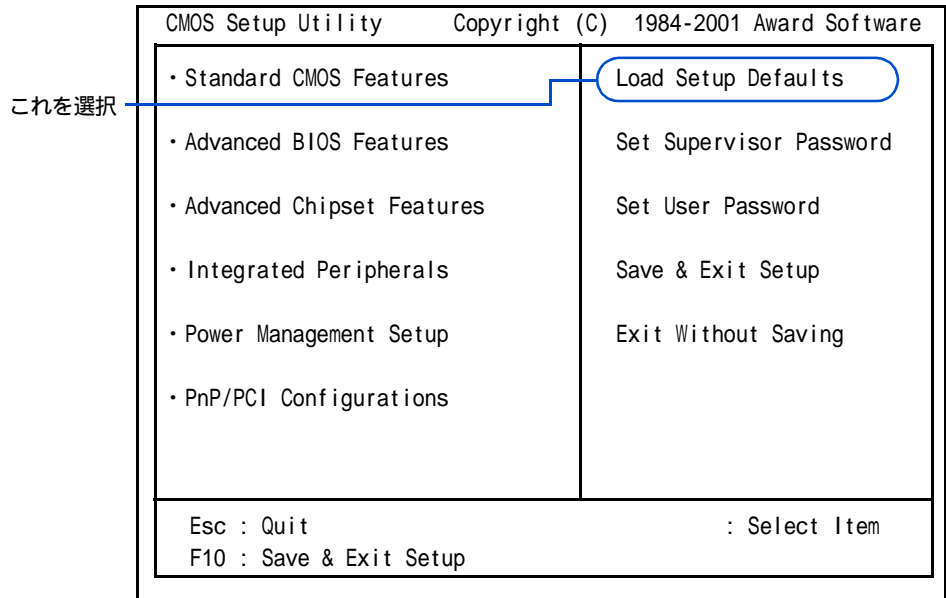
**参照** 拡張ボードの取り外しについて 「拡張ボードを取り付ける」

- 1 パソコンの電源を入れる。

パソコンの立ち上げ中、画面下部に「Press Tab to show POST screen, <Del> SETUP, <F12> Boot Menu」と表示されたら、[Delete] キーを押す。

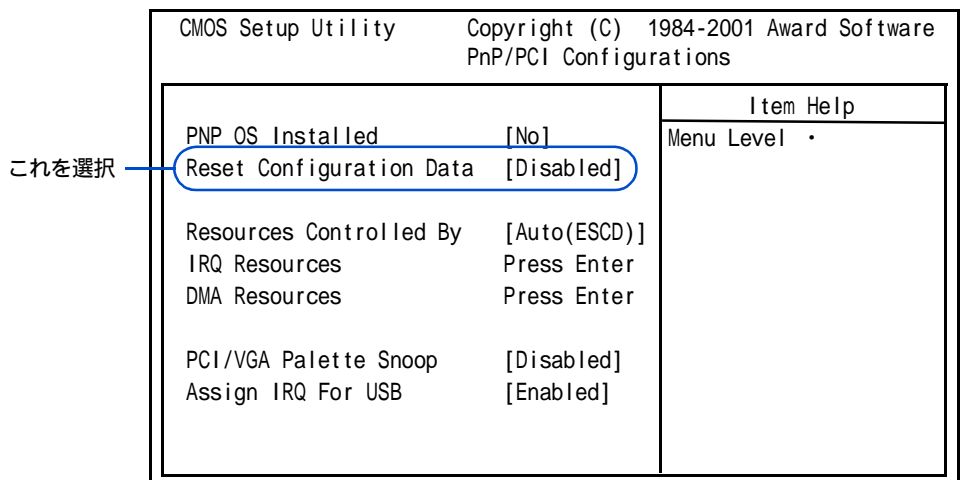
BIOS メニューが立ち上がる。

- 2 [ ]、[ ] キーで、[Load Setup Defaults] を選び、[Enter] キーを押して、「Load Setup Defaults (Y/N) ?」と表示されたら「Y」を選び、[Enter] キーを押す。



- 3 [ ]、[ ] キーで、[PnP/PCI Configurations] を選んで、[Enter] キーを押す。  
[PnP/PCI Configurations] が表示される。

- 4 [ ]、[ ] キーで、[Reset Configuration Data] を選び、[Enter] キーを押す。



サブメニューが表示される。

- 5 [ ]、[ ] キーで「Enabled」に変更し、[Enter] キーを押す。

## 6 [F10] キーを押す。

### ヒント

- ・ BIOSメニューで「Save & Exit Setup」を選び、[Enter] キーを押しても同じ操作ができます。

## 7 「SAVE to CMOS and EXIT (Y/N) ?」と表示されたら [Y] キーを押し、[Enter] キーを押す。

設定した内容が保存され、BIOSメニューが終了しパソコンが立ち上げ直される。

# 制限事項

ここでは、パソコンおよび周辺機器の使用環境、使用方法における制限をまとめてあります。

## パソコンおよび周辺機器を使用する環境について

- ・ 寒い場所では、室温を動作時周囲温度まで上げたあと 20 ~ 30 分経過してからお使いください。  
参照 動作時周囲温度 7章の「パソコン仕様一覧」
- ・ 暑い場所では、しばらく空調などを使用し室温が一定になってからお使いください。
- ・ 直射日光の当たる場所や、ストーブなど発熱する器具の近くでは使用しないでください。
- ・ ほこりが極端に多い場所では、使用しないでください。
- ・ 極端に高温、低温の場所、または温度変化が激しい場所では使用しないでください。また、湿度が極端に高い場所では、使用しないでください。  
参照 最適な温度と湿度 7章の「パソコン仕様一覧」
- ・ 腐食性ガスや塩分を多量に含む空気などは、パソコンおよび周辺機器の表面を化学的に腐食させます。そうすると、電子部品の接触抵抗が増加したり、可動部品の構造がもろくなり、パソコンおよび周辺機器の信頼性が著しく低下します。そのため、パソコンや周辺機器は腐食性ガス（特に亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアガスなど）や塩分を多量に含む空気などが発生しない場所に設置してください。
- ・ パソコンを使用する場所の近くで落雷が発生したり、電源の供給状態が悪い場合、使用中に瞬時停電や電圧低下が発生し、突然ディスプレイの表示が消えることがあります。  
このときは、一度パソコンの電源を切って立ち上げ直してください。

## パソコンおよび周辺機器の取り扱いについて

- ・ ハードウェアの故障に伴うデータやアプリケーションの破損については、補償いたしかねます。あらかじめご了承ください。
- ・ Windows の立ち上げ中や使用中に、電源スイッチを 4 秒以上押して電源を切ると次回立ち上げ時にチェックプログラムが動くことがあります。異常がない場合は、そのあと正常に Windows が立ち上がりますが、異常がある場合は、一括セットアップしないとパソコンが使用できない場合もあります。
- ・ パソコンは精密な電子部品で製造されていますので、衝撃を与えないでください。
- ・ 磁石やスピーカーなどの強い磁気を発生するものを近づけると、パソコンおよび周辺機器の故障の原因になります。
- ・ ディスプレイを背中合わせに設置したり並べて配置する場合は、互いに少し離して配置してください。



- ・ マウスは耐外来ノイズ性能が劣ります。マウスが誤動作する場合は、パソコンおよびその周辺機器の電源を同一のノイズフィルター付き O A タップからとることをお勧めします。
- ・ マウスの内部に異物などが入ったときは、取り除いてください。異物が入るとボールがなめらかに動かなくなります。
- ・ Windows で MS-DOS プロンプトを使用する場合は英語環境にしないでください。正しく動作しないことがあります。
- ・ パソコンを一度終了したら、再度立ち上げるのは必ず 20 秒以上経過してからにしてください。20 秒以上経過しないと、パソコンが立ち上がらないことがあります。
- ・ 煙霧状の殺虫剤などを使用するときは、事前にビニールシートなどでパソコンを完全に包んでください。
- ・ じゅうたんのある部屋でパソコンを使用したり、パソコンの使用中にひざ掛けなどを使用すると、それらの材質によっては静電気が発生し、パソコンおよび周辺機器に悪影響を及ぼす場合があります。静電気の発生しにくい材質のものをお使いください。

## 通信に関する制限

- ・ 通信中や、HDD、DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブの書き込み中には、パソコンの電源を切ったりソフトウェアリセットを行わないでください。
- ・ パソコン内蔵のモデムでは、Windows 標準の「ダイヤラ」は使用できません。
- ・ モデム着信による復帰はできません。

## キーボードに関する制限

- ・ MS-DOS プロンプトで、キーボードの [Stop]、[Play&Pause]、[Rew]、[FF] キーを押すと、コマンドラインに関係のない文字が入力される場合があります。

## HDD の容量表示について

HDD は、高密度な磁気ディスクにデータを保存する精密機器です。磁気ディスクには微小な欠点があり、これらの領域にはデータを書き込まないようになっています。

HDD のエラーチェックプログラムを実行すると、「不良セクタ」もしくは「スキップセクタ」が表示されることがあります。これは、データを書き込まない領域を表示しているだけで、HDD の不良ではありません。

取り付けられている内蔵 HDD の容量と、エラーチェックプログラム実行時に表示される「全ディスク容量」との関係は次の通りです。内蔵 HDD が複数のパーティションに分割されている場合は、各領域の合計値です。この場合、合計値が次の値以下になる場合があります。なお、\* は BIOS メニューの IDE の項目をご参照ください。

内蔵 HDD 容量	全ディスク容量の表示
* GB	* × 1000000000 バイト以上



# 7

## 章

# 技術情報

この章では、  
パソコンのシステム構成および仕様について  
説明します。

# パソコン仕様一覧

パソコンの仕様を紹介します。

製品名	Prius Deck 530B	
形名	530B5SM	
インストール OS 形式	Microsoft® Windows® XP Home Edition	
CPU (重要 1)	AMD® Duron プロセッサ 1GHz	
キャッシュ メモリー	1 次	128KB (CPU 内蔵)
	2 次 (キャッシュ有効範囲)	64KB (CPU 内蔵) (メモリー 0GB-1GB)
RAM	標準メモリー (ヒント 1)	256MB (SDRAM)
	最大メモリー	1024MB
	ビデオメモリー	16MB (メインメモリーと共用)
ROM	BIOS 512KB (Flash ROM)	
表示能力	半角	8 × 19 ドット、80 桁 × 25 行
	全角	16 × 19 ドット、40 桁 × 25 行
グラフィック (ヒント 2)	800 × 600 ドット時	中 (16 ビット) / 最高 (32 ビット)
	1024 × 768 ドット時	中 (16 ビット) / 最高 (32 ビット)
ディスプレイ	15 型液晶ディスプレイ	
HDD (ヒント 3)	80GB	
DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブ	CD-ROM/R 読み込み : 最大 32 倍速 CD-RW 読み込み : 最大 20 倍速 DVD-ROM 読み込み : 最大 8 倍速 CD-R/RW 書き込み : 最大 8 倍速、E-IDE	
カレンダー時計 (重要 2)	年月日、時分秒を刻時、刻時誤差 ± 150 秒 / 月	
FAX データモデム (ヒント 4、5)	DATA 56Kbps、FAX 14.4Kbps	
インタフェース	ライン入力	1 (ステレオミニジャック)
	ライン出力	1 (ステレオミニジャック)
	マイク	1 (モノラルミニジャック)
	スピーカー出力	1 (ステレオミニジャック)
	ヘッドホン / 光デジタル音声出力	1 (ステレオミニジャック) (EIAJ 丸型)
	i.LINK(S400、IEEE1394)	2 (4 ピン)
	USB	4
	LAN	1
	アナログディスプレイ	1
	デジタル液晶ディスプレイ	1
拡張スロット	スロット 1	PCI 規格 (ボードサイズ : 幅 107mm、奥行 200mm 以下)
	スロット 2	PCI 規格 (ボードサイズ : 幅 107mm、奥行 200mm 以下)
	スロット 3	AMR 規格 (モデムボード専用で使用済み)
PC カードスロット	TYPE II × 2 個または TYPE III × 1 個 PC Card Standard 準拠、Card Bus 対応	
SD ダイレクトスロット	SD メモリーカードまたは MMC × 1 個	

	製品名	Prius Deck 530B
	形名	530B5SM
電源	周波数	50/60Hz
	入力電圧	AC100V
消費電力	パソコン(ヒント6)	約 63W (最大 : 127W、サスペンド時 : 約 3.4W)
	ディスプレイ	最大 35W (サスペンド時 : 3W 以下)
省エネ法に基づく表示(ヒント7)	区分	R
	エネルギー消費効率	0.0011
外形寸法	パソコン	89 (W) X 339 (D) X 300 (H) mm
	ディスプレイ	456 (W) X 177 (D) X 347 (H) mm
質量	パソコン	約 7.0kg
	ディスプレイ	約 4.8kg
周囲温度	動作時(重要3)	10 ~ 35
	非動作時	- 10 ~ 43
	保存および輸送時	- 10 ~ 60
周囲湿度	動作時(重要3)	20 ~ 80%Rh (結露しないこと)
	非動作時	20 ~ 80%Rh (結露しないこと)
	保存および輸送時	20 ~ 80%Rh (結露しないこと)
	最大湿球温度	25

ヒント 1: Windows の「システムのプロパティ」でメモリー容量を参照すると、実際の容量より小さく見える場合があります。

**参照** メモリーボードの詳細について 3章の「メモリーボードとメモリーボードソケットの組み合わせかた」

ヒント 2: 中 (16 ビット) は、65536 色、最高 (32 ビット) は、1677 万色です。ただし、ディスプレイによっては最高 (32 ビット) に設定しても 1677 万色以下になります。

ヒント 3: 電源を切ると、HDD のヘッドは自動で待機領域に移動します。

HDD の容量は、1GB=10<sup>9</sup> バイトで計算した場合の数値を表しています。

ヒント 4: 最高速度は 56Kbps ですが、実回線では回線状態により 56Kbps では接続できないことがあります。PBX 内線を経由して接続する場合は、直接外線に接続する場合と比べて通信速度が下がります。

ヒント 5: 電気通信事業法による端末機器技術基準適合認定を受けた端末機器です。

認定形式 : T60M100

認定番号 : A01-1097JP

ヒント 6: 最大消費電力は、拡張スロットに 1 スロットあたり 5W の拡張ボードを取り付けた状態です。

ヒント 7: エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

重要 1: Windows のシステムのプロパティ、システム情報、アプリケーションなどによっては、正しく表示されないことがあります。CPU 情報は BIOS メニューの [Standard CMOS Features] の [Processor]、[Processor Speed] でご確認ください。

重要 2: 時計にはメインボードのリチウム電池を使っています。取り外さないでください。寿命で交換する場合は、お問い合わせ先にご連絡ください。刻時誤差は、メインボードのリアルタイムクロックの数値です。Windows の時間とずれることがあります。

重要 3 : 長時間の非動作時から動作させる場合は、周囲の温度や湿度になじむまで時間を置いてから起動してください。

#### ヒント

- ・ K (大文字) と k (小文字) の記載の単位は、K : 1024、k : 1000 で換算しています。

# ドライブの仕様

## DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブの仕様

項目	仕様
読み取り速度	CD-ROM : 最大 32 倍速 CD-RW : 最大 20 倍速 DVD-ROM : 最大 8 倍速
書き込み速度	最大 8 倍速
読み取り方式	半導体レーザー 3 ビーム方式による非接触読み取り方式
ディスクローディング方式	トレー式 / 電動イジェクト
周波数特性	20 ~ 20kHz( ± 3.0dB)
出力チャンネル	2ch
動作表示ランプ	オレンジ LED
寿命	約 5 年
バッファメモリー	2MB
転送レート	最大 4.8MBps
オーディオ仕様 オーディオ出力	0.78Vrms (Typical : 47k 負荷)
推奨ディスク	CD-R : 太陽誘電 (株) 製、TDK (株) 製、 三井化学 (株) 製、三菱化学 (株) 製、 (株) リコー製、日立マクセル (株) 製 CD-RW : 三菱化学 (株) 製、(株) リコー製

対応しているディスク  
次のディスクを使用できます。

- ・ CD-R
- ・ CD-RW
- ・ CD-DA (オーディオ CD)
- ・ CD-ROM(mode1、mode2)
- ・ CD-ROM XA(mode2 の form1、form2)
- ・ PhotoCD (シングル / マルチセッション)
- ・ CD-EXTRA(CD-Plus)
- ・ VIDEO CD
- ・ DVD-ROM
- ・ DVD-R(3.95GB)
- ・ DVD-VIDEO

### 重要

- ・ 使用するディスクによって、専用ソフトが必要です。
- ・ CD-R/RW は、使用する条件によって正しく読み込めないことがあります。
- ・ 推奨ディスク以外のディスクを使用すると書き込みエラーが発生することがあります。
- ・ 8cm CD-ROM を使用する場合は、パソコンを横置きでご使用ください。  
市販のアダプターを使うと、縦置きでもご使用になれます。

# ドライブの使用について

DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブ（以下、ドライブ）の使用について説明します。

## ドライブの取り扱い

- ドライブ使用中に振動を与えないでください。データを正しく読めないことがあります。
- パソコンの電源を切るときは、必ずディスクを取り出してからにしてください。ディスクを内蔵ドライブに入れたまま誤ってパソコンの電源を切ったときは、再び電源を入れて取り出してください。
- 通常は、ディスク強制イジェクトスイッチは使わないでください。ただし、内蔵ドライブが壊れ、ディスクイジェクトボタンを押してもトレーが出ないときは、ディスク強制イジェクトスイッチに細いピンなどを差し込んで取り出してください。
- ディスク強制イジェクトスイッチを使うときは、内蔵ドライブの内部に異物が入らないようにしてください。
- ディスクが偏重心している場合、ドライブの振動が通常より大きくなることや、読み取りスピードが遅くなる場合があります。
- パソコンの電源を切ったり、ソフトウェアリセット（[Ctrl] キーと [Alt] キーを押したまま [Delete] キーを押す）を行うときは、DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブアクセスランプが消えてから行ってください。
- DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブアクセスランプの点灯、点滅中に電源を切ったり、ソフトウェアリセットを行うと、ドライブが壊れることがあります。
- DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブアクセスランプが点灯しているときは、イジェクトボタンを押さないでください。また、電源を切らないでください。ドライブやディスクが壊れることがあります。
- ドライブは、10 ~ 35 の温度環境で使用できますが、長くお使いいただくためには30 以下の場所でお使いください。
- ドライブの使用中に強い衝撃を与えないでください。
- ディスクを入れたり取り出したりするとき以外に、ドライブのトレーを開けないでください。
- トレーの中に異物を入れないでください。ドライブが破損し、故障の原因になります。
- トレーを無理に引き出さないでください。ドライブが壊れることがあります。
- DVD-ROM&CD-R/RW マルチを書き込み中にディスクの傷や汚れを検出した場合、書き込みを中断することがあります。
- オプションのフロッピーディスクドライブなど、データの転送速度が遅いディスクドライブから CD-R や CD-RW に書き込みを行うときは、テスト書き込みを行ってください。
- CD-R や CD-RW にデータを書き込む時は、ほかのアプリケーションを終了してください。書き込み中も、ほかのアプリケーションを立ち上げないでください。データが壊れることがあります。

## ディスクの取り扱い

- ・ 割れたり変形したディスクを使用しないでください。故障の原因になります。
- ・ トレーを出し入れするときに、トレーを無理に引き出したり押し込んだりしないでください。ドライブが壊れることがあります。  
また、ディスクをセットしたり取り出すとき以外はトレーを引き出さないでください。
- ・ ディスクをお手入れするときは、乾いた柔らかい布でディスクの中心から外周に向けて放射状に拭いてください。このとき、ベンジン、シンナー、水、レコードクリーナー、静電気防止剤、シリコンクロスなどで拭かないでください。
- ・ ディスクからゴミや水分を取り除くのにドライヤーは使わないでください。
- ・ ディスクは高温な場所で保管しないでください。
- ・ ディスクを折ったり曲げたりしないでください。
- ・ ディスクに字を書いたり傷を付けしないでください。
- ・ ディスクにラベルなどをはると、ドライブ内での回転が不安定になり故障の原因になります。
- ・ お子さまがディスクを傷つけたりしないよう、ディスクはお子さまの手の届かないところに保管してください。
- ・ CD-RW の書き換え可能回数は 1000 回程度です。1000 回以上使用した場合は、書き込みエラーが発生することがあります。



# メモリーボードの仕様

## ヒント

- メモリーボードの使用環境はパソコンと同じです。

項目	仕様
容量	256MB
外形寸法	約 133 mm (W)X32 mm (D)
質量	約 15g
DRAM タイプ	SDRAM
DIMM タイプ	168 ピン
バッファの有無	バッファなし
ECCの有無	ECCなし
バスクロック	133MHz (PC133、CL=3)
電圧値	3.3V

# 有寿命部品一覧

パソコンの部品は、長期間使用しているうちに劣化、磨耗します。次の部品は、一定周期で交換の必要があります。部品は有償です。購入や交換については、お買い求め先にご連絡ください。

なお、交換した部品は、パソコン購入時の部品と、仕様が異なる場合があります。

品名	備考
キーボード	* 1
CPU 放熱ファン	
ハードディスクユニット	
マウス	* 1、2
メインボード	* 1、3
電源ユニット	
液晶ディスプレイ	* 1、3
DVD-ROM&CD-R/RW マルチユニット	* 2、4
リチウム電池	* 5

\* 1：事務室で1日に約4.8時間、1カ月で25日間、通常で使用すると想定した場合、寿命は約5年です。したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。

\* 2：定期的にクリーニングし、清潔に保った場合。

\* 3：使用しているアルミ電解コンデンサーは寿命のある部品です。

\* 4：事務室で1日に約2時間、1ヶ月で25日間、データを読み込むと想定した場合、寿命は約5年です。したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。

\* 5：事務室で1日に約4.8時間、1カ月で25日間、通常で使用すると想定した場合、寿命は約5年です。したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は長くなります。定期的に通電されることをお勧めします。

# オプション情報

パソコンに増設または接続できるオプションを次に示します。

分類	品名	形名	仕様
ファイル装置	フロッピーディスク装置	UF2231	USB インタフェース、3.5 型 3 モード *
オーディオ装置	MEDIALIVE	EU7100	USB インタフェース、 対応送信周波数：76.8 ~ 78.0MHz オーディオ周波数帯域：20Hz ~ 15kHz

\*：Windows XP では、2 モード FDD としての使用となります。

## 重要

- この一覧以外のオプションは動作保証していません。







# 付録

# 用語解説





ここでは、Prius シリーズで使われている用語を説明します。機種によっては対応していない用語もあります。

## 数字



-  2DD  
両面倍密度倍トラックと呼ばれるフロッピーディスクのフォーマット形式で、720KB にフォーマットできる。
-  2HD  
両面高密度と呼ばれるフロッピーディスクのフォーマット形式で、1.44MB にフォーマットできる。
-  3 モード FD ドライバー  
1.25MB(1.23MB) のフロッピーディスクの読み書きを行うためのドライバー。  
1.25MB(1.23MB) のフォーマットはできない。
-  5.1 チャンネルドルビーデジタル  
映画の多くで採用されている音声の再生方式の1つ。DVD ビデオなどにも採用されている。

## 英字


### A

-  ACPI  
Advanced Configuration and Power Interface の略。節電機能など電源管理を行うための最新の仕様。Windows 98、Windows 2000、Windows Me、Windows XP でサポートされている。
-  ADSL  
従来の電話回線を使い、音声電話に使用しない高い周波数を利用することで、高速なデータ転送を可能にしたデジタル技術(xDSL)の1つ。インターネットへの接続には専用のADSL モデムを使用する。
-  APM  
Advanced Power Management の略。節電機能など電源管理を行うための仕様。
-  Athlon  
アスロン。パソコンに使われている CPU の種類の1つ。

### B

-  BIOS  
キーボード、マウス、プリンター、ディスク装置などの入出力装置のインタフェースで、基本的な処理を行うプログラム。本書では、BIOS メニューを指す。セットアップメニューという場合もある。
-  BIOS 設定の初期化  
BIOS メニューの設定値を、工場出荷時の状態に戻すこと。

### C

-  Card Bus  
PC カードのインタフェースの規格。データ転送が32ビット化されている。

## CPU

中央処理装置。パソコンの基本である演算と制御を行う。

## D

## DMA

Direct Memory Access の略。CPU を介さずに、主記憶装置（メモリー）と周辺機器（ハードディスクなど）とのデータの受け渡しを行う方法。

## Duron

デュロン。パソコンに使われている CPU の種類の 1 つ。Athlon との違いは 2 次キャッシュメモリーの容量。

## F

## FDISK

ハードディスクのパーティションなどを設定する MS-DOS プロンプトのコマンド。

## G

## GB

ギガバイト。容量などを示す単位。1GB は約 1000MB。

## I

## IC

Integrated Circuit の略。トランジスター、ダイオード、コンデンサーなどを詰め込んだ集積回路のこと。

## IDE

ハードディスクドライブや、CD-ROM ドライブなどを接続するためのインタフェース。

## I/O マップ

入出力装置のそれぞれに割り当てられているアドレスの一覧表。

## IP アドレス

インターネットなどで使用するアドレス。

## IRQ

キーボード、マウス、SCSI ポートなどのハードウェアからパソコンの CPU に対して処理を要求する割り込み信号。

## L

## LAN

ローカルエリアネットワーク (Local Area Network) の略。同じビル内や構内など、比較的狭い範囲で使用されるネットワーク。

## LAN ユーティリティー

内蔵 LAN の通信速度やモードを設定するユーティリティー（機種による）。

## Low Battery

バッテリーパックの容量が少なくなった状態。Low Battery になったら、バッテリーパックを交換すること（ノート型パソコンのみ）。

## M

## MB

メガバイト。容量などを示す単位。1MB は約 1000kB。

## MS-DOS

Microsoft Disk Operating System の略。ディスクやファイルなどを管理する基本となるプログラム。

## MS-DOS モード

MS-DOS (Microsoft Disk Operating System) 互換モード。MS-DOS で動作するゲームなどが実行できる。

## MS-DOS 領域

MS-DOS システムを格納する領域。

## O

## OS

Operating System の略で パソコンを動作させる基本的なソフトウェア。パソコンにはじめからインストールされている。基本ソフトともいう。Windows も OS の 1 つ。

## P


## PCI


パソコンへの入出力のバス規格の 1 つ。

## PDF


Portable Document Format の略で、プリンタードライバーに依存しないファイル形式。


このマニュアルのデータも PDF ファイルである。


 Pentium  
ペンティアム。パソコンに使われている CPU の種類の 1 つ。


 PIO モード  
Program Input/Output の略。IDE インタフェースのデータ転送方式の一種。

## S


 Save to Disk/Save to File  
ノートパソコンの節電機能の一種。一定時間キー入力やマウス操作をしない、ディスプレイを閉じるなどによって現在の状態を HDD に保存し、パソコンの電源を切る。

 SCSI  
スカジー。パソコンと周辺機器を接続するためのインタフェース規格。


 SSE ドライバー  
Intel Streaming SIMD(Single Instruction Multiple Data)Extensions Driver の略。Intel Pentium III processor や、一部の Intel Celeron processor のパソコンで Windows を使用できるようにするドライバー。


 SuperDisk  
データを保存するもの。120MB まで保存できる。

## T


 TFT  
Thin Film Transistor の略で、液晶ディスプレイの表示方式の一つ。画面にトランジスターを埋め込み、それを使って 1 点 1 点を直接光らせ表示する方式。


## U

 UHD  
SuperDisk のフォーマット形式で、120MB にフォーマットできる。

 USB(ユニバーサルシリアルバス)インタフェース  
キーボード、マウス、スピーカー、モデム、プリンターなど比較的低速な周辺機器とパソコンとの接続を、同じコネクタで統一したインタフェース。

## W


 Windows  
パソコンをビジュアルに操作できるようにした基本ソフト。


 Windows 2000  
Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System または Microsoft® Windows® 2000 Server Operating System の略。

 Windows 95  
Microsoft® Windows® 95 Operating System の略。

 Windows 98  
Microsoft® Windows® 98 Operating System の略。

 Windows Me  
Microsoft® Windows® Millennium Edition の略。

 Windows NT  
Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System または Microsoft® Windows NT® Server Network Operating System の略。

 Windows XP  
Microsoft® Windows® XP Home Edition または Microsoft® Windows® XP Professional の略。



# 五十音

## あ

- 📖 アイコン  
ファイルの内容やソフトウェアの機能のメニューを絵文字で現したものの。
- 📖 アクティブデスクトップ (Active Desktop)  
インターネット エクスプローラ 4.0 からの機能のひとつ。デスクトップの壁紙にホームページを使用したり、チャンネルバーを表示できる。
- 📖 アドレス  
データやソフトウェアを格納する記憶装置の中の特定の位置を示す数字。
- 📖 アプリケーション  
パソコンでワープロ、表計算、パソコン通信などを実行するプログラムの総称。
- 📖 インジケータ  
パソコンに電源が入っているか、節電中であるか、キーボードの設定などのパソコンの状態を示すランプ。
- 📖 インストール  
アプリケーションや Windows をハードディスクに組み込むこと。
- 📖 インターネット アプライアンス (Internet Appliance)  
インターネットに接続するための機器またはその環境。
- 📖 インターネット エクスプローラ (Internet Explorer)  
インターネットに簡単に接続するアプリケーション。ブラウザともいう。
- 📖 液晶ディスプレイ  
液晶を使ったディスプレイ装置。
- 📖 オプション機器  
標準では装備されていない機能や周辺機器。

## か

- 📖 解像度  
画面表示の粗さを示す。

- 📖 拡張ボード  
拡張スロットに取り付けて機能を拡張するボード。
- 📖 カラーパレット  
画面表示で使用する色数。
- 📖 起動ドライブ  
パソコンの電源を入れたとき基本ソフトを読み込むドライブ。
- 📖 基本ソフト  
パソコンを動作させる基本的なソフトウェア。パソコンにはじめからインストールされている。
- 📖 クライアントパソコン  
クライアントサービスシステムで、サービスを提供するサーバパソコンに対し、サービスを要求するパソコン。
- 📖 クリック  
マウスの左ボタンなどを 1 回押してすぐに指を離すこと。メニューやアイテムなどを選択するときに行う。
- 📖 コントロールパネル  
パソコンの環境を設定するプログラムをまとめたもの。
- 📖 コンピューターウイルス  
ネットワークやフロッピーディスクを介して感染する有害なプログラム。

## さ

- 📖 再セットアップ  
パソコンを工場出荷時の状態に戻すこと。
- 📖 サウンドドライバー  
スピーカーやマイク、サウンド機能を使えるようにするドライバー。
- 📖 サスペンド  
BIOS の節電機能の一種で、一定時間キー入力やマウス操作をしないと、CPU が一時停止し、ディスプレイとハードディスクが節電状態になる。

- 📖 システムスタンバイ  
OSの節電機能の一種で、Windows 98、Windows 2000、Windows Me、Windows XPの機能。一定時間キー入力やマウス操作をしないと、CPUが一時停止し、ディスプレイとハードディスクが節電状態になる。
- 📖 システム装置  
個人用コンピュータのこと。このマニュアルでは、パソコンと表記。
- 📖 周辺機器  
パソコンの内外に接続する装置や入出力装置の総称。
- 📖 使用許諾契約書  
ここでは、パソコンにあらかじめインストールされている各アプリケーションとWindowsを使用するための契約書を示す。
- 📖 ショートカット  
実際のデータやアプリケーションの代理として働くアイコン。
- 📖 ショートカットメニュー  
右クリックで表示されるメニュー。よく行う操作が簡単に選べる。
- 📖 自動挿入 / 自動再生  
音楽CDやCD-ROMを入れると、自動的に再生したり、CD-ROMの機能が働いたりすること。
- 📖 スクリーンセーバー  
画面の焼き付きを防止するもの。一定時間キー入力やマウス操作を行わないと、自動的に設定した画面表示に替わる。
- 📖 スタートボタン  
Windowsのいろいろな操作を始めるときに使うボタン。
- 📖 スタンバイ  
BIOSの節電機能の一種で、一定時間キー入力やマウス操作をしないと、CPUは動作したまま、ディスプレイとハードディスクが節電状態になる。
- 📖 赤外線インタフェース  
赤外線インタフェースの送受信部。赤外線インタフェースを持つ機器と通信できる。

- 📖 節電機能 ( パワーマネージメント )  
一定時間キー入力やHDDへのアクセスなどがないとき、消費電力を低下させる機能。
- 📖 セットアップメニュー  
パソコンの節電機能や周辺機器構成などを設定する機能を集めたメニュー。
- 📖 挿入の自動通知  
音楽CDやCD-ROMを入れると、自動的に再生したり、CD-ROMの機能が働いたりすること。
- 📖 ソフトウェアリセット ( リセット )  
緊急時に電源を切らずにパソコンを立ち上げ直すこと。

## た

- 📖 ダブルクリック  
クリックボタン、またはマウスのボタンを2回続けてクリックすること。
- 📖 チャンネルバー  
アクティブデスクトップの機能のひとつ。デスクトップに表示されるホームページのメニュー。
- 📖 デスクトップ  
パソコンの作業をするための机のようなもの。データやアプリケーションなどのショートカットをおいて作業しやすくできる。
- 📖 ドライバー  
ディスプレイやプリンターなどのハードウェアとアプリケーションプログラムからやりとりするためのインタフェースプログラム。
- 📖 ドラッグ  
クリックボタン、マウスのボタンを押しながらマウスカーソルを移動すること。

## な

- 📖 内蔵タイマー  
パソコンに内蔵されている時計。

## は

- 📖 パーティション  
ハードディスクの領域。複数に分けて使うことができる。
- 📖 バス  
パソコン内部の信号（データ）の通信路。信号の種類や、接続する機器により、数種類のバス規格がある。PCI バス、VME バスなどもそれらの1つ。
- 📖 パソコン  
パーソナル（個人用）コンピューターの略。
- 📖 バックアップ  
ハードディスクやフロッピーディスクのアプリケーションやデータを、保存用のフロッピーディスクやMOなどの記録媒体にコピーすること。
- 📖 ハードウェアウィザード  
周辺機器などパソコンの環境を自動的に設定するもの。
- 📖 ハードウェアの追加  
周辺機器などパソコンの環境を自動的に設定するもの。
- 📖 表示ドライバー  
画面の表示を設定するドライバー。
- 📖 表示モード  
画面の解像度や色数などの表示状態。
- 📖 ファイル装置  
ハードディスクドライブ、フロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブなどの総称。
- 📖 フォーマット  
フロッピーディスクやハードディスクを使いえるようにすること。
- 📖 フォルダー  
データやプログラムを整理してまとめておく入れ物。
- 📖 フォントサイズ  
文字のサイズ。


- 📖 プラグアンドプレイ  
周辺機器を増設するだけで、自動的に使えるようにする機能。
- 📖 プラグアンドプレイ機能  
パソコンに周辺機器を接続するだけで、パソコンが周辺機器を自動的に認識する機能。パソコンや周辺機器に特別な設定がいらぬ。
- 📖 プリンターの設定  
使用するプリンターの機種を設定し、Windowsで使えるようにすること。
- 📖 フロッピーディスク  
データを保存するもの。
- 📖 ホットキー  
[Fn] キーとファンクションキーの組み合わせを指す。ディスプレイの明るさやコントラストの調節などに使用する（ノート型のみ）。

## ま

- 📖 マウスカーソル  
マウスの動きに合わせて画面を移動するマーク。
- 📖 マルチファンクションカード  
複数の機能を持つPCカード。複数のIRQを使用することがある。
- 📖 マルチファンクションボード  
複数の機能を持つPCIボード。INTA以外も使用することがある。
- 📖 メインボード  
CPUやその周辺回路、メインメモリーなどを搭載した基板。
- 📖 メモリーボード  
パソコンのメモリー容量を増やすためのボード。

## や

- 📖 ユーティリティ  
メーカーが提供する補助的なソフトウェアのこと。データの変換、ファイルの複写、作表など共通で、頻繁に使われるソフトウェア。

- 
- 📖 ユニバーサルシリアルバスコネクタ  
USB (ユニバーサルシリアルバス) インタ  
フェース

ら

- 📖 リセット  
電源を切らずにパソコンを立ち上げ直すこと。
- 📖 リフレッシュレート  
画面表示するときの、垂直同期周波数。

# さくいん

## A

Acrobat Reader 91  
AOL 83  
ASAHI ネットサインアップ 83

## B

BeatJam XX-TREME 84  
BIOS 106

## C

CyberSupport 3.0 for HITACHI 91

## D

DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブの仕様 116

## I

i.LINK 機器 44  
INTERNET キー 17

## L

LAN ドライバー 89

## M

Mail キー 17  
Microsoft Office XP Personal 76  
MotionDV STUDIO 84

## N

@ nifty でインターネット 83

## P

P1 キー 17  
P2 キー 17  
PCI 規格 62  
PC カード 48  
PC カードスロット 48

## S

SD ダイレクトスロット 51  
SD ダイレクトドライバー 90  
SD メモリーカード 51  
So-net 簡単スターター 83

## U

Universal Serial Bus 42  
USB 42

## V

VirusScan 83  
Volume Control 14

## W

Windows ファイルを追加セットアップ 93

## あ

アナログディスプレイコネクタ 53  
アプリケーション CD 80  
安全 5

## い

一括セットアップを行う 67  
インターネット CITY 83  
インターネットするなら BIGLOBE 83

## え

エラーメッセージ 104

## お

お手入れ 100

## か

拡張スロット 62  
拡張ボード 62  
画面の解像度、色、フォントサイズ 12  
画面のプロパティ 12

## き

キーボードインジケータ 19

## く

クリーニング 101

## け

警告 6

## こ

コネクタープレート 63

## さ

サウンドドライバー 87

## し

周辺機器 33, 110

仕様 113  
使用環境 110

## す

スタンバイ 26

## せ

制限 110

## ち

注意 9, 10

## つ

通常使うプリンター 37

## て

ディスプレイの節電 26  
デジカメ Ninja2001 83

## と

同時表示 53  
ドライブの仕様 116

## は

パーティション 94  
ハードディスクの節電 26  
 바이오ス 106  
パソコン 110  
パソコンカバー 57

## ひ

光デジタルオーディオ機器 46  
表示ドライバー 86

## ふ

部品 120  
プリンター 36  
プリンタードライバーのインストール方法 36

## へ

ヘッドホン 39

## ほ

ホームページ Ninja 84

## ま

マイク 39  
マルチメディアキーボードドライバー 88

## め

メール着信ランプ 20  
メモリーボード 59

メモリーボードの仕様 119

## も

モデムドライバー 88

## ゆ

有寿命部品 120

## り

リフレッシュレート 13

## 他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

このマニュアルにおいて説明されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約に基づき同意書記載の管理責任者の管理のもとでのみ使用することができます。

それ以外の場合は該当ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。

- ・ EnergyStar はアメリカ合衆国の登録商標です。
- ・ Microsoft、MS-DOS、Windows は、米国 Microsoft Corp. の登録商標です。
- ・ AMD は米国 Advanced Micro Devices, Inc. の登録商標です。
- ・ Duron は米国 Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。
- ・ ドルビーは、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- ・ CyberSupport は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- ・ その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

---

## パソコン応用

初 版 2002 年 1 月

無断転載を禁止します。

落丁・乱丁の場合はお取り替えいたします。

---

# 株式会社 日立製作所 デジタルメディアグループ

〒 243-0435 神奈川県海老名市下今泉 810 番地

---

Copyright © Hitachi, Ltd. 2002. All rights reserved.



再生紙

このマニュアルは、再生紙を使用しています。

530B740P0-1

